4-262-347-**02** (1)

ネットワーク
サーベイランス
レコーダー

ユーザーガイド

NSR-S10/S20

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

第 1 章　はじめに

第 2 章　日常の運用

第 3 章　Web ブラウザーからモニタリングする（WebViewer）

第 4 章　各種設定と画面の詳細

第 5 章　その他

商標について

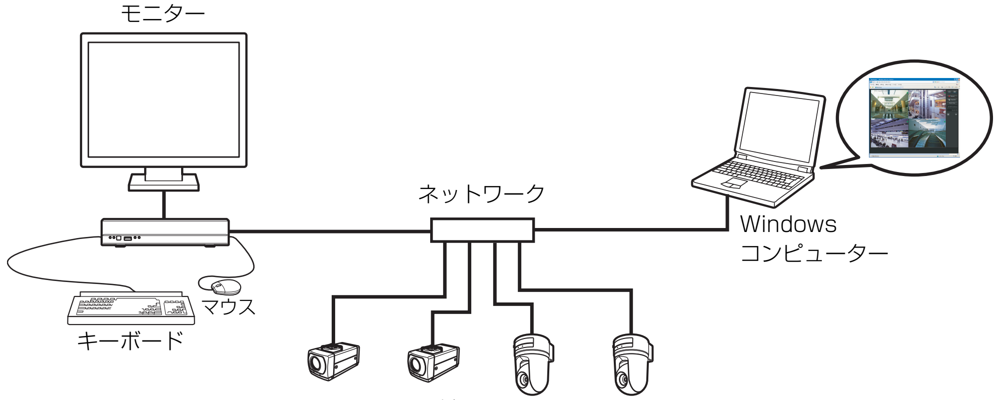
・“IPELA” および IPELA は、ソニー株式会社の商標です。
・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。
なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

はじめに　第1章

機能概要

NSR-S10/S20は、ネットワークカメラに対応したネットワークサーベイランスレコーダーです。ネットワークカメラのJPEG、MPEG-4またはH.264の画像をネットワーク経由でモニタリングしたり、記録することができます。また、記録した画像を簡単な操作で検索、再生することもできます。



対応ネットワークカメラの管理や遠隔操作が可能

NSR-S10では最大4台、NSR-S20では最大8台のネットワークカメラの画像を表示し、カメラの管理、コントロールができます。パン（左右）・チルト（上下）・ズーム（拡大）に対応したカメラであれば、カメラの動作を制御できます。

大容量ハードディスクに長時間記録

ハードディスク内蔵モデルでは、大容量ハードディスクを内蔵していますので、長時間記録可能です。また、e-SATAインターフェース対応のストレージデバイスを接続することもできます。

ブラウザからもモニタリングが可能

コンピューターのブラウザから本機にアクセスし、画像のモニタリングや記録／再生が行えます。

その他の機能

- 常時記録、動体検知記録、アラーム記録などの多彩な記録モードをサポートしています。
- 日時、センサー、動体検知、ビデオ信号消失などをキーにして、記録画像を検索できます。
- 対応ネットワークカメラからの音声の記録／再生[1]にも対応しています。

1) 別売のオーディオアンプやスピーカーが必要です。

重要

- 本書では、NSR-S10の画面例を使って説明しています。
- 本書では、本機の設置と初期設定について説明しています。本機の詳細な設定については、第4章「各種設定と画面の詳細」（34ページ）を参照してください。
- クライアントコンピューターの動作環境や、対応しているカメラの機種、重要なお知らせについては、『リリースノート』（PDF）をご覧ください。リリースノートは、以下のURLからダウンロードできます。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

必要なシステム

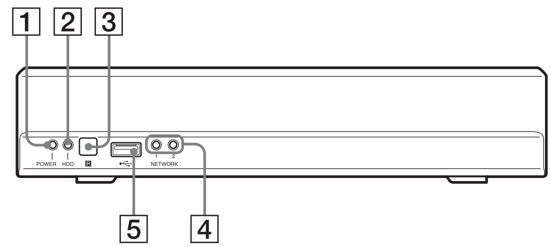
本機を操作するために必要なハードウェアは以下のとおりです。

- モニター [1]
- ソニー製ネットワークカメラ
  本機で使用できるソニー製ネットワークカメラについては、お買い上げ店にお問い合わせください。
- USB キーボード [2]
- USB マウス [3]
- ネットワークスイッチ
- 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T ケーブル
- USB フラッシュメモリー [4]

1) 本機で使用できるモニターは、アナログ RGB 入力対応のコンピューターディスプレイです。
2) USB キーボードは、ケーブル接続タイプをお使いください。無線接続や赤外線接続タイプの USB キーボードでは動作しない場合があります。また、拡張ボタンなど、標準以外の機能も動作しない場合があります。
3) USB マウスは、ケーブル接続タイプをお使いください。無線接続や赤外線接続タイプの USB マウスでは動作しない場合があります。また、3 ボタンやホイールなどの機能も動作しない場合があります。
4) 動画や静止画をエクスポートするときに必要です。
   – USB フラッシュメモリーは、USB 2.0 マスストレージに対応しています。USB 2.0 マスストレージでも USB HDD や CD/DVD ドライブには対応していません。USB フラッシュメモリー以外のマスストレージデバイスは接続しないでください。また、USB 2.0 マスストレージの USB フラッシュメモリーでも一部の製品によってはデータの書き込みの際にエラーとなる可能性があります。書き込みの際にエラーが発生した場合には、別の機種の USB フラッシュメモリーをお使いください。

各部の名称

前面



1 **POWER LED**
電源が入ると、緑色に点灯します。

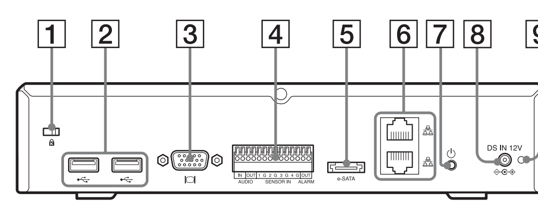
2 **HDD LED**
内蔵ハードディスクのアクセス時に緑色に点滅します。

3 **赤外線受光部**
赤外線リモートコントロールユニットは、ここに向けて操作します。

4 **NETWORK LED（1、2）**
背面の LAN コネクター（1、2）にそれぞれアクティビティがあるときに緑色に点灯します。

5 **USB 端子**
USB マウス、USB キーボード、USB フラッシュメモリーなどを接続します。

後面



1 **セキュリティスロット**
物理的な盗難防止のためのワイヤーケーブルを取り付けます。

2 **USB 端子**
USB マウス、USB キーボード、USB フラッシュメモリーなどを接続します。

3 モニター端子
モニターを接続します。

4 I/O ポート
オーディオ、センサー入力、リレー出力を接続します。接続のしかたとセンサー入力への配線図については、「I/O ポートについて」（67 ページ）を参照してください。

5 e-SATA 端子
e-SATA インターフェース対応のストレージデバイスを接続します。

6 LAN 端子（1、2）
10Base-T/100Base-TX/1000Base-T のネットワークケーブルを接続します。
上が LAN2 端子で、下が LAN1 端子です。
LAN1：ネットワークカメラ
LAN2：ネットワークカメラ（LAN1 と別のセグメントを使用する場合のみ LAN2 の使用が可能です。）

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターを以下のポートに接続しないでください。
- LAN1 端子
- LAN2 端子
上記のポートについては本書の指示に従ってください。

7 電源スイッチ
押すと、電源が入ります。

メモ

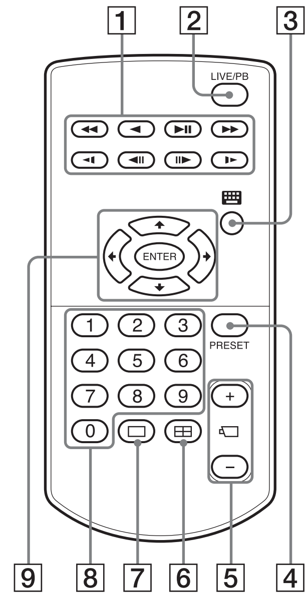
電源ボタンを押して強制的に電源を切ることもできますが、通常は画面操作で電源を切ってください。

8 DC IN 端子（12 V）
付属の AC アダプターを接続します。

9 ケーブルクランプ穴
電源コードが抜けないように、付属のケーブルクランプを取り付けます。

赤外線リモートコントロールユニット

赤外線リモートコントロールユニットを、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押すと、対応する操作が実行されます。



1 再生操作ボタン
記録画像の再生時に使用します。

◀◀（早戻し再生）ボタン
早戻し再生します。（2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、64 倍速）

◀（逆再生）ボタン
巻き戻し再生します。

▶II（一時停止／再生）ボタン
停止中：再生します。（1 倍速）
再生中：再生を一時停止します。

▶▶（早送り再生）ボタン
早送り再生します。（2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、64 倍速）

◀I（スロー戻し再生）ボタン
スロー巻き戻し再生します。（1/2 倍速、1/4 倍速）

◀II（コマ戻し）ボタン
1 コマ戻します。

I▶（スロー送り再生）ボタン
スロー送り再生します。（1/2 倍速、1/4 倍速）

II▶（コマ送り）ボタン
1 コマ送ります。

2 LIVE/PB ボタン
ライブ画像と記録画像再生を切り替えます。

3 ▦（ソフトキーボード）ボタン
文字入力用のソフトキーボード画面を表示します。

4 PRESET（プリセット）ボタン
カメラをプリセット位置に移動します。

5 +／−（カメラ番号）ボタン
選択しているカメラを切り替えるときに使います。
［+］を押すとカメラ番号が1つ進み、［−］を押すと1つ戻ります。

6 ⊞（2 × 2 レイアウト）ボタン
画面のレイアウトを2 × 2（4 面）に切り替えます。

7 ▭（1 × 1 レイアウト）ボタン
画面のレイアウトを1 × 1（1 面）に切り替えます。

8 10 キー
数字を入力するときに使います。

9 選択操作ボタン
項目を選択するときに使用します。

↑ ボタン
フォーカスを上に移動させたり、上の項目を選択するときに使用します。

← ボタン
フォーカスを左に移動させたり、左の項目を選択するときに使用します。

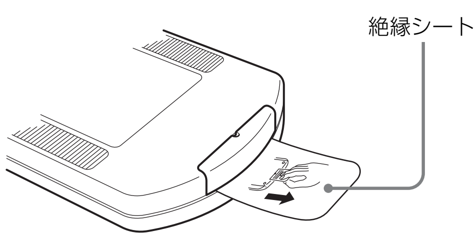
↓ ボタン
フォーカスを下に移動させたり、下の項目を選択するときに使用します。

→ ボタン
フォーカスを右に移動させたり、右の項目を選択するときに使用します。

ENTER（確定）ボタン
選択している項目やモニターフレームを決定したり、操作を実行するときに使用します。

赤外線リモートコントロールユニットをご使用になる前に

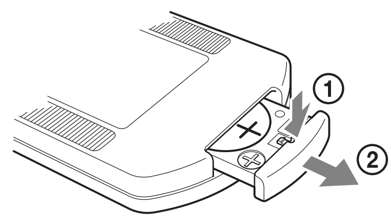
絶縁シートを引き抜いてください。



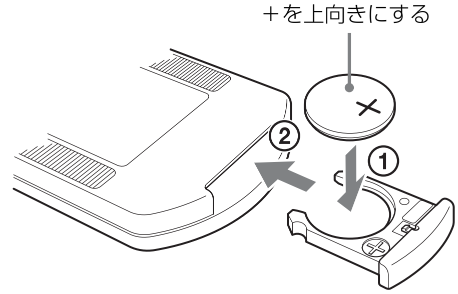
赤外線リモートコントロールユニットのリチウム電池を交換するには

赤外線リモートコントロールユニットには市販のリチウム電池 CR2025 を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

1 ロックレバーを押したまま（①)、電池ホルダーを引き出す（②)。



2 +を上向きにして新しい電池を入れ（①)、カチッと音がするまで電池ホルダーを押し込む（②)。



注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国・地域の法令に従って処理してください。

電池の交換時期

リチウム電池の能力が低下すると、ボタンを押しても操作できないことがあります。リチウム電池の寿命は通常約 1 年ですが、使用頻度によって変わります。リモコンのボタンを押しても本機がまったく動作しない場合は、電池を交換し、動作を確認してください。

日常の運用

第2章

概要

本章では、NSR へのログオンや画面の基本操作、モニタリング、画像の記録・検索・再生など、日常行う以下の操作について説明します。

- NSR にログオンする（9 ページ）
- 画面の基本操作（11 ページ）
- モニタリングする（15 ページ）
- カメラをコントロールする（18 ページ）
- 画像を記録・検索・再生する（19 ページ）
- 記録画像をエクスポートする（24 ページ）
- アラームを解除する（27 ページ）
- システムの管理をする（27 ページ）
- 電源を切る／再起動する／ログオフする（28 ページ）

メモ

コンピューターのブラウザからの操作については第 3 章「Web ブラウザーから モニタリングする（WebViewer）」（29 ページ）を、カメラや記録、センサー、アラームなどの設定については第 4 章「各種設定と画面の詳細」（34 ページ）をご覧ください。

NSR にログオンする

本機を操作するには、NSR にログオンする必要があります。

1 NSR の電源を入れる。

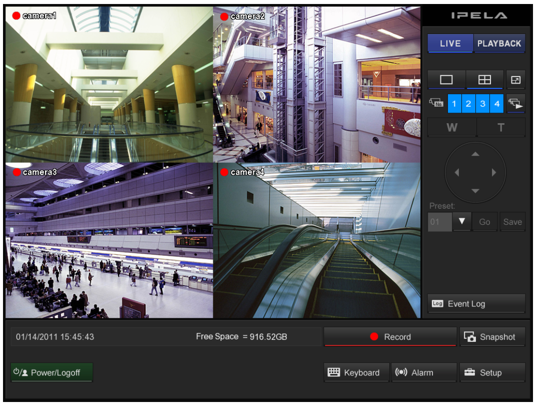
AC アダプターの電源コードをコンセントに接続すると、自動的に電源が入ります。
画面操作または本機後面の電源スイッチで電源を切った後、再度電源を入れるときは、電源スイッチを押してください。

「ピー」と音が鳴り、本機前面の POWER LED が緑色に点灯します。
しばらくすると、モニターに起動画面が表示されます（画面が表示されるまで 1 ～ 2 分かかります）。
本機が起動すると、「メイン」画面が表示されます。

メモ

- 「メイン」画面にログインするユーザー ID とパスワードは以下になります。
  初期設定ユーザー ID：admin
  初期パスワード：admin
- 自動ログインの設定の変更については、「システムに関する設定をする」（36 ページ）をご覧ください。

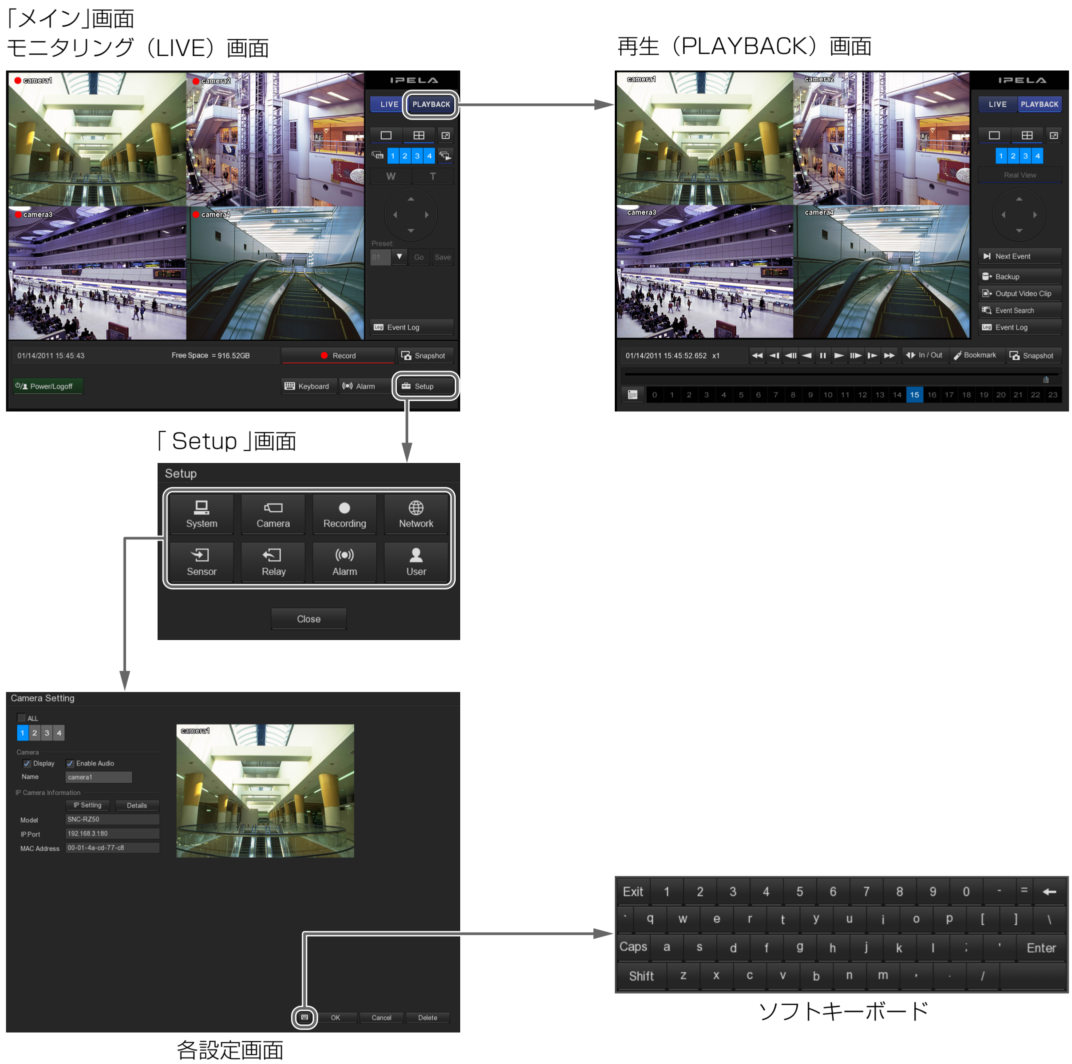
同一セグメントのネットワークに接続されているカメラが探索され、本機に自動登録されると、「メイン」画面にカメラからの画像が表示されます。



カメラが自動登録されると、自動的に常時記録が開始されます。

画面の基本操作

ここでは、各画面共通の基本操作について大まかに説明します。
本機には、画像のモニタリングや記録画像の検索・再生を行う「メイン」画面と、各種設定を行う「設定」画面があります。



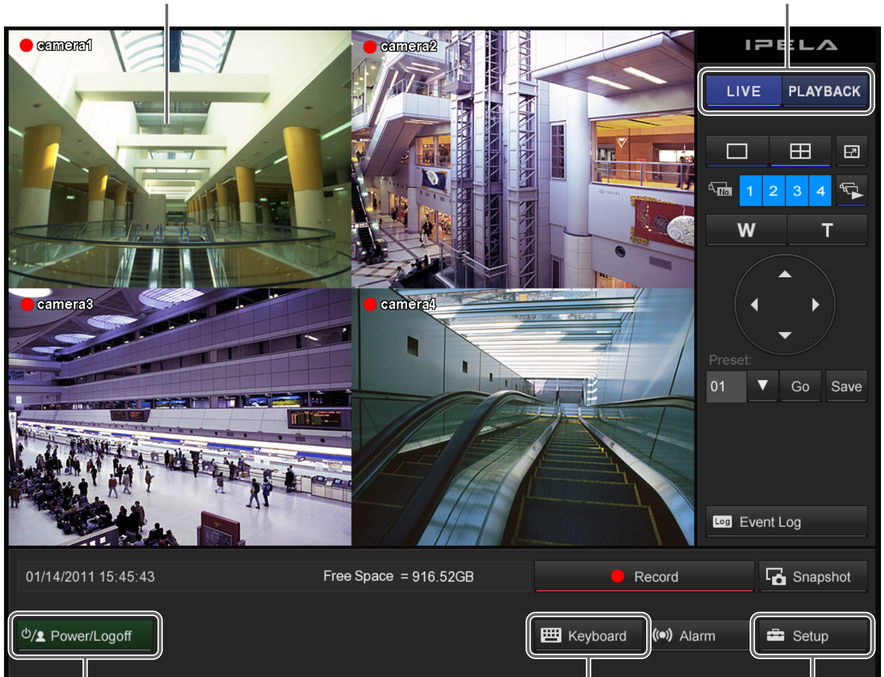
「メイン」画面

「メイン」画面では、各モニターフレームでライブ画像のモニタリングや記録画像の検索／再生が行えます。
ライブ画像（モニタリング）と記録画像の再生を切り替えるには、画面右上にある［LIVE］または［PLAYBACK］をクリックします。

モニタリング（LIVE）画面

モニターフレーム

ライブ画像と記録画像再生を切り替えます。



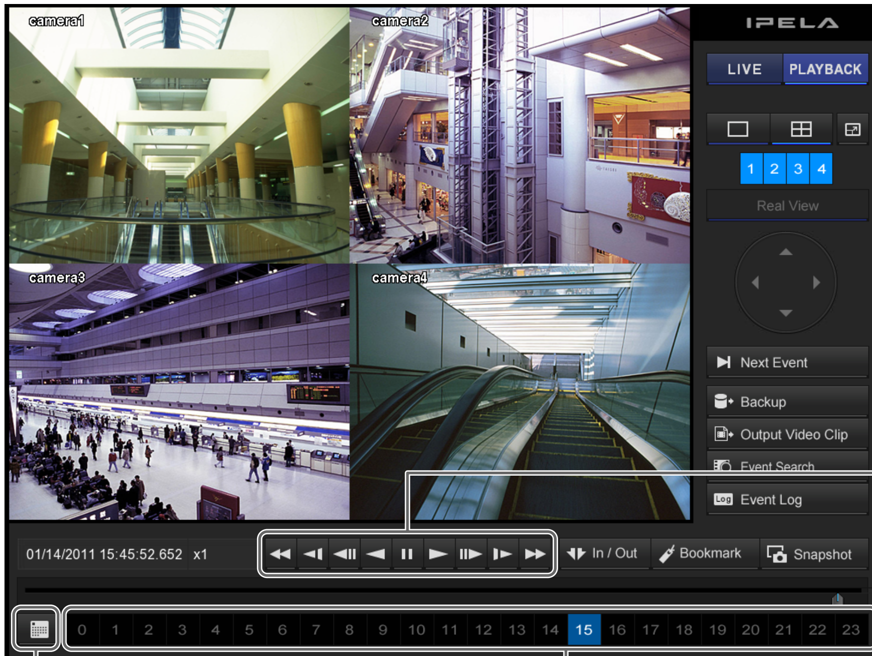
ログオフや本機の再起動などが行えます。

文字を入力するためのソフトキーボードを表示します。

各種設定を行うときに使います。
このボタンをクリックすると「設定メニュー」画面が表示されます。

モニタリングのしかたについては、「モニタリングする」（15 ページ）、「カメラをコントロールする」（18 ページ）をご覧ください。

再生（PLAYBACK）画面



記録画像を再生するときに使います。

日時を指定して記録を検索するときに使います。

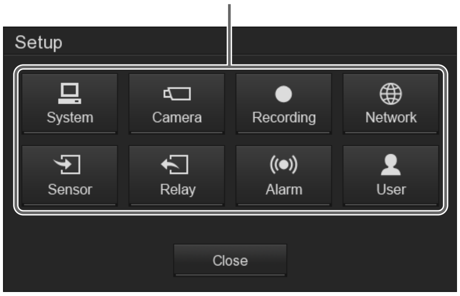
選択されている画像の時刻を変えて画像を再生したいときに、時間帯を指定します。

記録の検索・再生のしかたについては、「画像を記録・検索・再生する」（19 ページ）をご覧ください。

「設定メニュー」画面

設定したい項目を選びます。

設定したい項目のボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。



各設定画面

カメラの登録や記録の設定、ユーザーの登録など、本機を使用するための設定が行えます。



モニタリングする

現在カメラが撮影しているライブ画像や、カメラからの音声をモニタリングできます。また、1 × 1（1 面）のレイアウトで、カメラの画像を順番に表示させるオートスキャン機能を使ったモニタリングもできます。

ライブ画像をモニタリングする

画面右上の［LIVE］をクリックすると、現在カメラが撮影している画像をモニタリングできます。



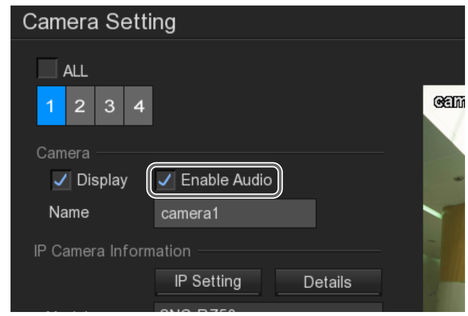
レイアウトを変更するには

レイアウトのボタンをクリックすると、レイアウトが切り替わります。
また、カメラ ID のボタンをクリックしたり、モニターフレームをクリックすると、該当するカメラの画像が 1 × 1（1 面）のレイアウトで表示されます。



カメラからの音声をモニタリングするには

「カメラ設定」画面で、［音声有効］にチェックマークを付け、カメラからの音声を有効にします。
設定について詳しくは、「カメラに関する設定をする」（41 ページ）をご覧ください。



カメラからの音声を有効にすると、モニターフレームの左上に が表示されます。



カメラの画像を順番に表示する（オートスキャン）

（オートスキャン）をクリックし、オートスキャンを有効（青点灯）にすると、カメラの画像が順番に表示されます。



各モニターフレームの表示時間を設定できます。設定方法については、「「システム設定」画面の詳細」の「オートスキャン周期」（40 ページ）をご覧ください。

オートスキャンを止めるには

再度（オートスキャン）をクリックし、ボタンを消灯させます。

モニタリング（LIVE）画面の機能と使いかた

モニタリング（LIVE）画面では、現在カメラが撮影しているライブ画像のモニタリングなどが行えます。



Ⓐ 1 × 1（1 面）レイアウトのとき

マウスの右ボタンでドラックすると、デジタルズームができます。

Ⓑ モニターフレーム

ライブ画像の表示や記録画像の再生ができます。モニターフレームをクリックすると、そのモニターフレームが 1 面で大きく表示されます。

モニターフレームには、以下のアイコンが表示されます。

●：記録中

□：動体検出中

　記録中に動体を検出すると、●と表示されます。

：音声有効（無効時はグレー表示）

Ⓒ カメラ ID

モニターフレームに画像を表示させるカメラを選択します。

Ⓓ レイアウト切り替え

モニターフレームのレイアウトを切り替えます。

□：1 × 1（1 面）のレイアウトに切り替えます。

⊞：2 × 2（4 面）のレイアウトに切り替えます。

Ⓔ モニターフレーム状態切り替え

モニターウィンドウの状態（ライブ／プレイバック）を切り替えます。

Ⓕ （全画面）

現在のレイアウト（モニターフレームの並び）で全画面表示します。通常画面に戻るには、画面右上に表示されるをクリックします。

キーボードの Esc キーでも通常画面に戻ります。

Ⓖ （オートスキャン）

カメラの画像を順番に表示します。

Ⓗ カメラコントロール

パン・チルト・ズーム機能を備えたカメラの場合に、カメラからの画像を操作できます。

広角ズーム／望遠ズーム



広角側／望遠側にズームします。
［W］はワイド（広角側）、［T］はテレ（望遠）になります。

パン／チルト



カメラを上下左右に動かします。

ご注意

SNT-EX シリーズにアナログカメラをつないでいる場合は、パン・チルト・ズームを制御できるカメラであっても、本機ではアナログカメラのパン・チルト・ズームは制御できません。

Preset（プリセット）

選択したプリセット位置にカメラが移動します。
操作については、「カメラのプリセットを使う」（18 ページ）をご覧ください。

Ⓘ Event Log（イベントログ）

イベント／操作／システム／ネットワーク履歴を表示します。

Ⓙ Snapshot（保存）

描画中の画面を静止画ファイルとしてエクスポートします。
静止画は JPEG でエクスポートされます。

Ⓚ Setup（システム設定）

「設定メニュー」画面を表示します。

Ⓛ Alarm（アラームステータス）

アラームの状態と履歴を表示します。
アラームを解除するときは、このボタンをクリックし、表示される「アラームの状態」画面で［リセット］をクリックします。

Ⓜ Keyboard（キーボード）

文字を入力するためのソフトキーボードを表示します。

Ⓝ Record（録画）

「録画設定」画面で設定されている録画モードに従って、カメラの画像の記録を開始または停止します。
デフォルトでは、起動時に記録が開始されています。

Ⓞ Power/Logoff（終了）

再起動、電源切断、別のユーザーでのログインができます。

Ⓟ ステータス表示

現在の日時と、ハードディスクの空き容量が表示されます。

カメラをコントロールする

カメラに記憶されているプリセット位置にカメラを移動できます。

カメラのプリセットを使う

カメラに記憶されているプリセット位置にカメラを移動できます。また、新しいプリセット位置を設定することもできます。

1 コントロールしたいカメラの画像が表示されているモニターフレームを選択する。

2 [Preset] で、プリセット番号を選択し、[Go] をクリックする。



カメラがプリセットの位置に移動します。

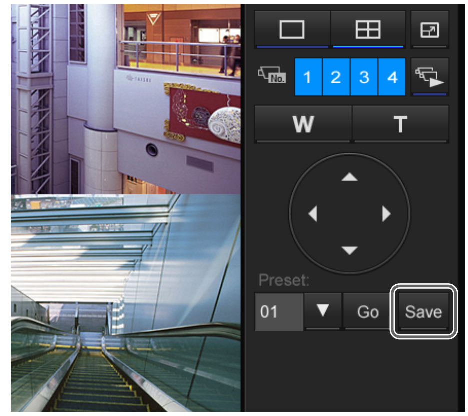
新しいプリセット位置を設定するには

プリセット位置の設定機能を持つカメラのみ設定できます。

1 プリセット位置を設定したいカメラの画像が表示されているモニターフレームを選択する。

2 画像を確認しながらパン／チルト、ズームを操作して、カメラの位置を調整する。

3 新しいプリセットを設定するプリセット番号を選択し、[Save] をクリックする。



新しいプリセット位置が設定されます。

メモ

プリセットの数は、カメラの種類に依存します。詳しくは、ご使用になるカメラのユーザーガイドをご覧ください。

画像を記録・検索・再生する

ライブ画像を記録したり、記録済みの画像データや音声データを検索して再生できます。
ここでは、以下の操作について説明します。

- カメラの画像の記録を開始または停止する （19 ページ）
  「録画設定」での記録の設定に従って、カメラの画像の記録を手動で開始または停止できます。記録の開始／停止は、すべてのカメラで一斉に実行されます。
- 記録画像を再生する （19 ページ）
  指定した時間分を自動的に巻き戻して再生するインスタント再生や、再生位置を日時で指定したり、アラーム履歴から再生するなど、簡単な操作で記録画像を再生できます。
- イベントで検索する （20 ページ）
  イベント（センサー入力、動体検知、VIDEO LOSS（ビデオ信号消失））を指定して記録画像を検索し、再生できます。
- ブックマークを付ける （21 ページ）
  記録画像にブックマークを付け、いつでも呼び出せるようにしておくことができます。

カメラの画像の記録を開始または停止する

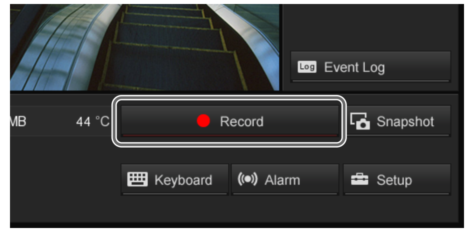
「録画設定」での記録の設定に従って、カメラの画像の記録を手動で開始または停止できます。記録の開始／停止は、すべてのカメラで一斉に実行されます。

メモ

- 「録画設定」画面の［録画モード］で、［記録しない］に設定されているカメラでは記録を開始できません。
- ライブ画像が表示されていない場合は画面右上の［LIVE］をクリックしてください。

1 Record（録画）をクリックする。

常時記録や動体検知記録を行っている場合は、Record（録画）をクリックすると、記録が停止します。手動記録を開始する場合は、再度 Record をクリックしてください。



記録が開始されます。
記録中は、モニターフレームの左上に ● が表示されます。



メモ

レイアウトを変更しても、記録は継続されます。

2 記録を停止するときは、再度 Record（録画）をクリックする。

記録が停止します。

記録画像を再生する

直前に記録された画像を自動的に巻き戻して再生するインスタント再生や、再生位置を日時で指定するなど、簡単な操作で記録画像を再生できます。

メモ

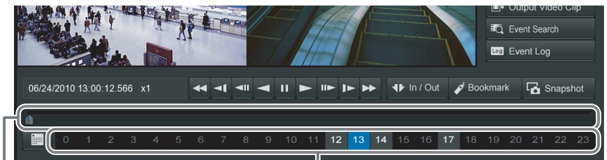
［PLAYBACK］をクリックして再生画面に切り替えたときの動作を設定できます。設定方法については、「「システム設定」画面の詳細」の「再生モード」（40 ページ）をご覧ください。

インスタント再生

［PLAYBACK］をクリックすると、自動的に再生します。

選択されている画像の時刻を変えて再生する

再生（PLAYBACK）画面下部の時間ボタンや再生スライダーで、選択している画像の再生時刻を変更できます。時間ボタンで時間を、再生スライダーで分を指定してください。

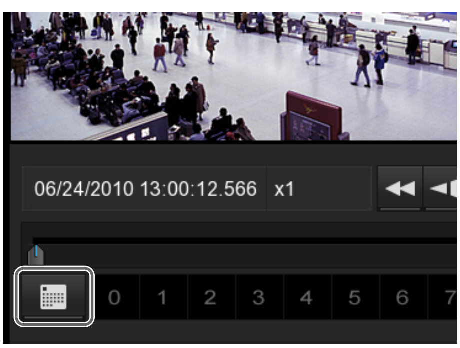


スライダーを動かして分を指定します。　ボタンで時間を指定します。

日時を指定して再生する

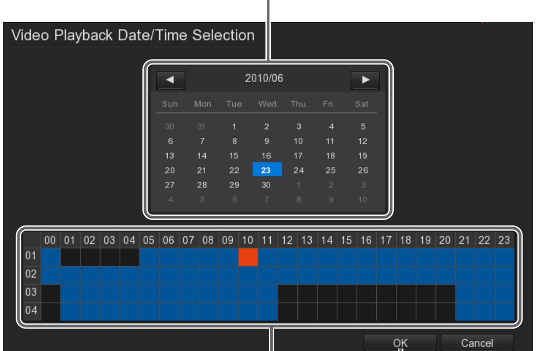
記録画像の再生位置を日時で指定できます。

1 再生（PLAYBACK）画面左下の （日付選択）をクリックする。



カレンダーが表示されます。

2 日時を指定する。



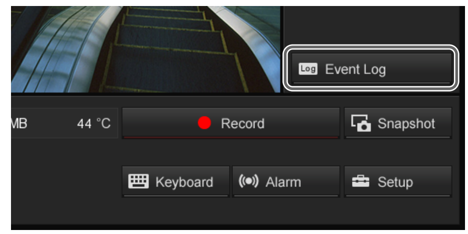
① 日にちを選択する。

② 記録を再生するカメラと時間帯を選択する。
記録画像がある時間帯は■で表示されます。■をクリックして選択し、表示を■に変えます。

③［OK］をクリックする。
記録が再生されます。

イベント履歴から再生する

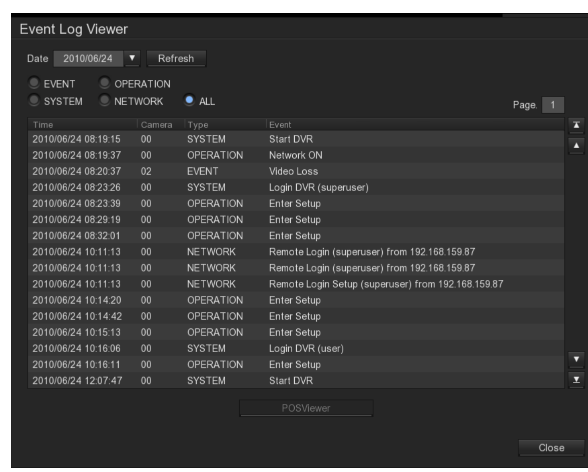
1 画面右下の Event Log（イベントログ）をクリックする。



「イベントログビューア」画面が表示されます。

2 イベントの種類や日付を選択する。

該当するイベントが表示されます。
記録画像がある場合は、履歴をダブルクリックすると再生されます。

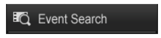


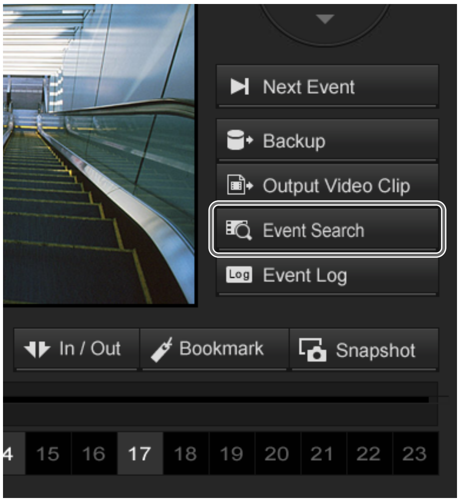
3「イベントログビューア」画面を閉じるときは、［Close］をクリックする。

イベントで検索する

イベント（センサー入力、動体検知、VIDEO LOSS（ビデオ信号消失））を指定して記録画像を検索し、再生できます。

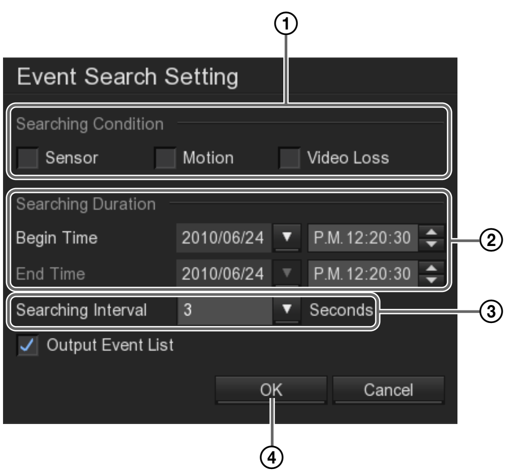
1 検索対象のカメラの画像が表示されているモニターフレームを選択する。

2 再生（PLAYBACK）画面右側の  （イベント検索）をクリックする。



「イベント検索設定」画面が表示されます。

3 検索条件を設定する。



① 検索対象のイベント種別にチェックマークを付ける。

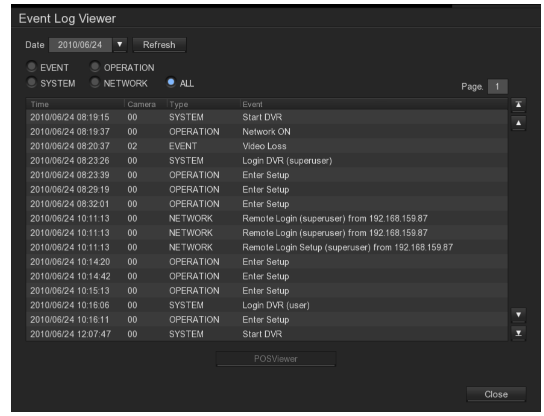
② 検索対象の日時の範囲を指定する。

③ 検索する間隔を秒単位で選択する。

④［OK］をクリックする。

検索が開始され、検索結果が「イベントリスト」画面に表示されます。

4 再生したいイベントをダブルクリックする。



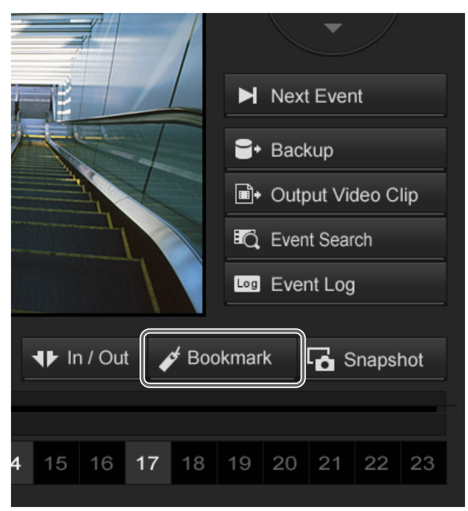
記録画像が再生されます。

5 「イベントリスト」画面を閉じるときは、［閉じる］をクリックする。

ブックマークを付ける

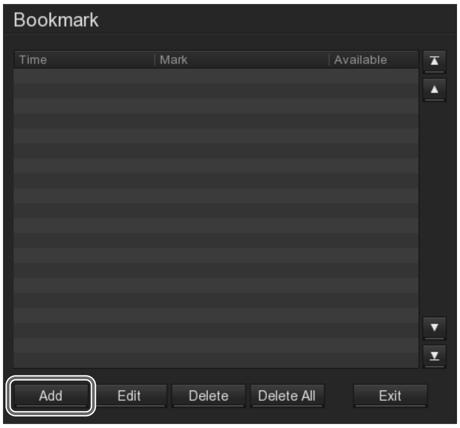
記録画像にブックマークを付け、いつでも呼び出せるようにしておくことができます。

1 ブックマークを付けたい場面で一時停止し、（ブックマーク）をクリックする。



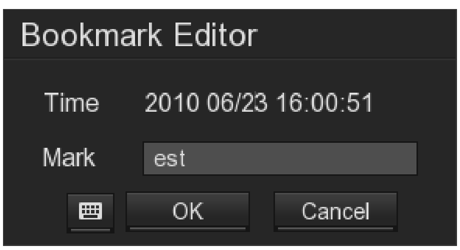
「ブックマーク」画面が表示されます。

2 ［追加］をクリックする。



「ブックマークエディター」画面が表示されます。

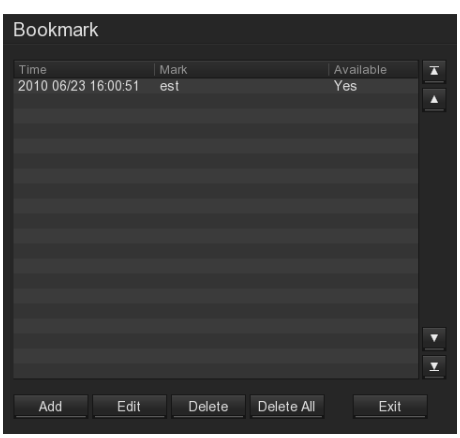
3 ブックマーク名を入力し、［OK］をクリックする。



ブックマークがリストに追加されます。

ブックマークを呼び出すには

呼び出したいブックマークをダブルクリックすると、モニターフレームに該当する記録画像が表示されます。



再生（PLAYBACK）画面の機能と使いかた



Ⓐ Real View

カメラからの画像を実サイズ（dot by dot）で表示します。本機能は、カメラのビデオサイズが1280 × 720以上のときに有効です。

実サイズ表示で映像の全域が表示されない状態になったときは、右側のパン／チルトボタンで表示するエリアを移動できます。

Ⓑ Next Event（次の検索）

記録データ内の次のイベントにジャンプします。

本機能は、イベント検索機能を使用しているときに有効になります。

Ⓒ Backup（バックアップ）

記録画像をファイルとしてUSBフラッシュメモリーにバックアップできます。

Ⓓ Output Video Clip（エクスポート）

記録画像を独自形式のファイル（.dvr）としてUSBフラッシュメモリーにエクスポートできます。

Ⓔ Event Search（イベント検索）

イベントログの記録（センサー入力、動体検知、VIDEO LOSS（ビデオ信号消失）など）から記録画像を検索できます。

Next Event（次の検索）を使用する場合は、「イベント検索設定」画面で、［イベントリストを出力します］のチェックマークをはずして検索してください。

Ⓕ Event Log（イベントログ）

イベント／操作／システム／ネットワーク履歴を表示します。

Ⓖ In / Out（セグメント設定）

記録画像をエクスポートする場合に、その一部分を指定できます。

このボタンをクリックすると、現在の再生位置に開始点／終了点が設定されます。

開始点と終了点を変更したいときは、開始点と終了点を設定してから再度 In / Out をクリックすると、開始点と終了点をクリアできます。

Ⓗ Bookmark（ブックマーク）

現在の再生位置にブックマークを付けます。

Ⓘ 再生コントロールボタン

記録画像を再生するときに使います。

（早戻し再生）

巻き戻し再生します。（2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速、64倍速）

（スロー戻し再生）

スロー巻き戻し再生します。（1/2倍速、1/4倍速）

（コマ戻し）

1コマ戻します。

◄ **(逆再生)**
巻き戻し再生します。

II **(一時停止)**
再生を一時停止します。

► **(再生)**
再生します。(1 倍速)

II► **(コマ送り)**
1 コマ送ります。

I► **(スロー送り再生)**
スロー送り再生します。(1/2 倍速、1/4 倍速)

►► **(早送り再生)**
早送り再生します。(2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、64 倍速)

Ⓙ 再生スライダー
現在の再生位置を表示します。
スライダーを動かして再生位置を移動させることもできます。

Ⓚ 時間指定ボタン
本日記録した画像を再生したいときに使います。
数字は時間を示しています。

Ⓛ 日時指定ボタン
日時を指定して記録を検索するときに使います。
(日付選択)をクリックすると、カレンダーが表示され、日にちと時間を指定できます。

Ⓜ ステータス表示
画像が記録された日時や再生速度が表示されます。

記録画像をエクスポートする

保存されている記録画像を USB フラッシュメモリーにバックアップしたり、独自形式の動画(.dvr ファイル)や静止画(JPEG ファイル)としてエクスポートできます。

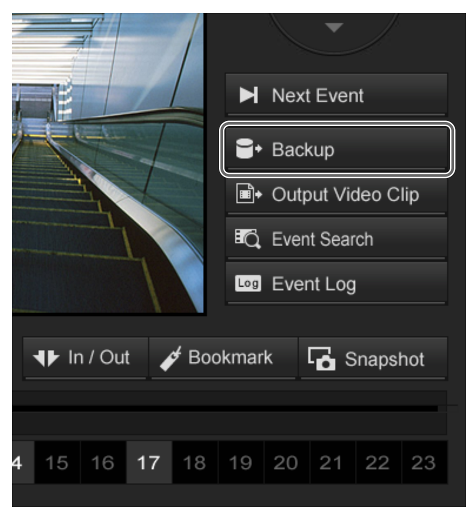
メモ

- 同時に複数のエクスポート処理を行うことはできません。
- USB HDD や CD/DVD ドライブには対応していません。USB フラッシュメモリー以外のマスストレージデバイスは接続しないでください。

記録画像をバックアップする

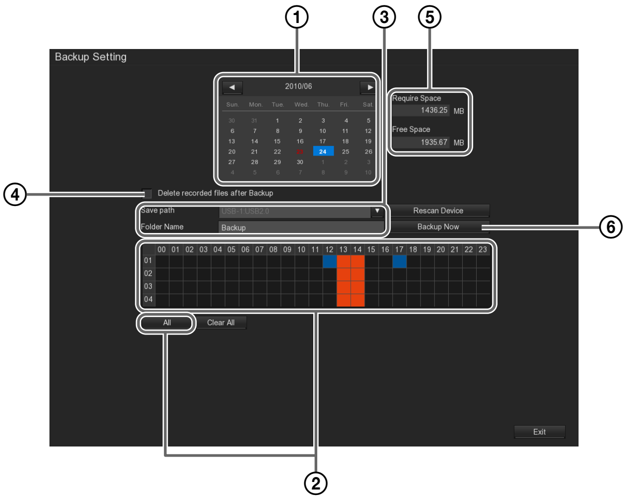
日時を指定して、保存されている記録画像をバックアップできます。

1 再生(PLAYBACK)画面右側にある Backup (バックアップ)をクリックする。



「バックアップ設定」画面が表示されます。

2 各項目を設定する。



① バックアップ対象の日にちを選択する。

② バックアップ対象のカメラと時間帯を選択する。
記録が保存されている時間帯は、青色で表示されます。マスを選択すると、赤色に変わります。
［全部］をクリックすると、記録が保存されているすべての時間帯が選択状態になります。

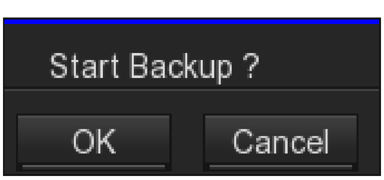
③ バックアップ先のメディアを選択し、フォルダ名を入力する。

④ バックアップ後に記録画像を削除するときは、［バックアップ完了後の録画データを削除します］にチェックマークを付ける。

⑤［デバイスを再スキャンします］をクリックし、バックアップファイルの容量と空き容量を確認する。

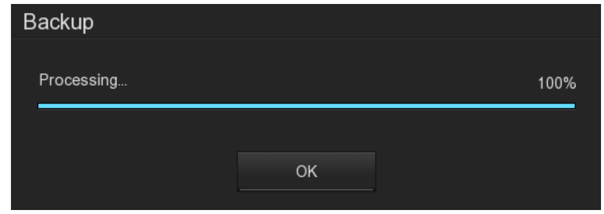
⑥［今すぐバックアップ］をクリックする。
確認メッセージが表示されます。

3［OK］をクリックする。



記録画像のバックアップが開始されます。
バックアップ中は以下の画面が表示され、進行状況を確認できます。

4 バックアップが完了したら、［OK］をクリックする。



5「バックアップ設定」画面を閉じるときは、［OK］をクリックする。

記録画像と一緒に、画像ファイル（.dvr）の再生ソフト NSR-S Viewer もコピーされます。

動画としてエクスポートする

保存されている記録画像を NSR-S Viewer で再生できる形式の動画（.dvr ファイル）としてエクスポートできます。

メモ

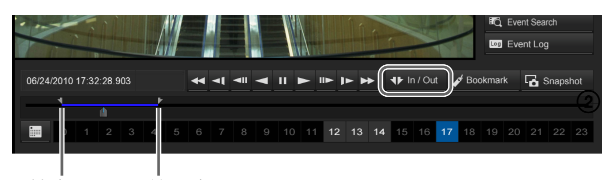
NSR-S Viewer は、記録画像のバックアップを行ったときに、画像ファイルと一緒にコピーされます。

1 再生（PLAYBACK）画面で、エクスポートしたい記録画像をモニターフレームに表示させる。

2 1 画面表示のレイアウトにする。

3 エクスポートする開始点と終了点を指定する。

In / Out（セグメント設定）をクリックすると、現在の再生位置に開始点／終了点が設定されます。

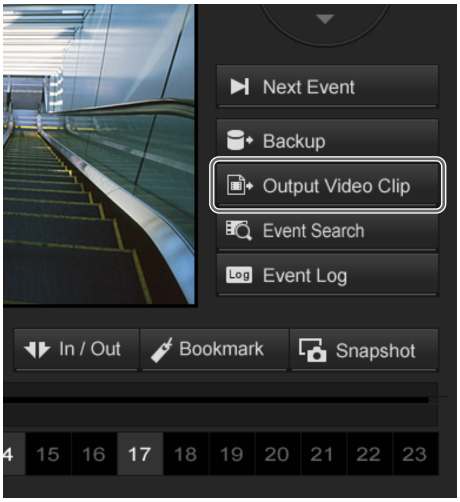


開始点　　終了点

メモ

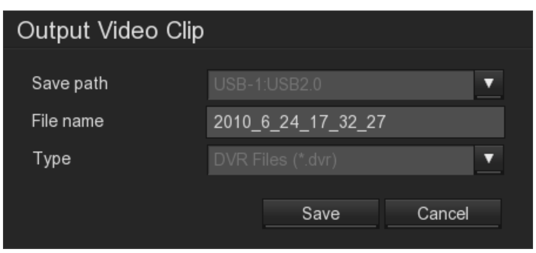
開始点と終了点を変更したいときは、開始点と終了点を設定してから再度 In / Out をクリックすると、開始点と終了点をクリアできます。

4 Output Video Clip（エクスポート）をクリックする。

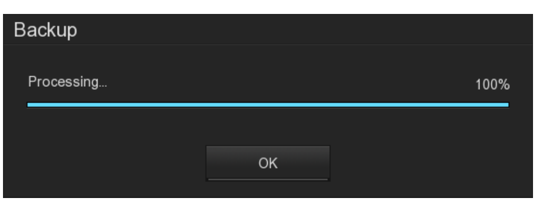


「映像クリップ出力」画面が表示されます。

5 バックアップ先のメディア、フォルダ名、ファイル形式を設定し、［保存］をクリックする。



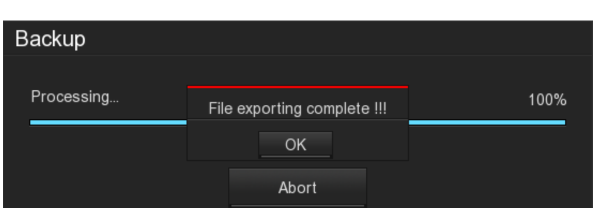
エクスポートが開始されます。
エクスポート中は以下の画面が表示され、進行状況を確認できます。



メモ

メディアの空き容量が足りない場合は、警告のメッセージが表示され、エクスポートが中止されます。

6 エクスポートが完了したら、［OK］をクリックする。

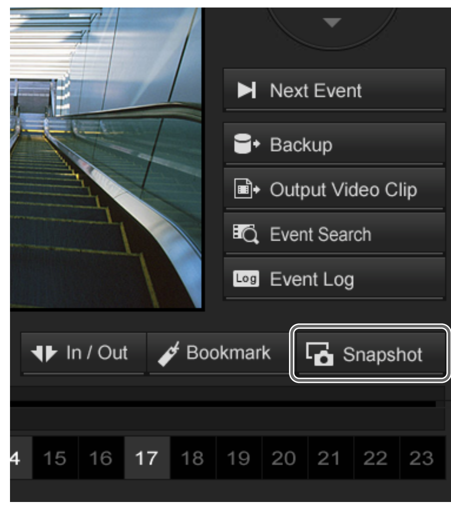


静止画としてエクスポートする

記録画像またはライブ画像の一場面をキャプチャーし、静止画ファイル（JPEG ファイル）としてエクスポートできます。

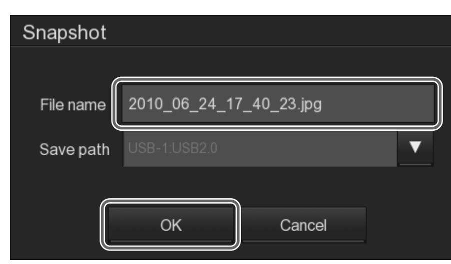
1 エクスポートしたい場面で Snapshot（スナップショット）をクリックする。

記録画像をキャプチャーしたいときは、対象となる記録画像をモニターフレームに表示させ、エクスポートしたい場面で一時停止してから、Snapshot（スナップショット）をクリックします。



「スナップショット」画面が表示されます。

2 エクスポート先のメディアを選択し、［OK］をクリックする。



エクスポートされます。

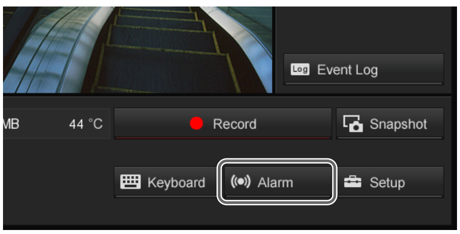
メモ

- メディアの空き容量が足りない場合は、警告のメッセージが表示され、エクスポートが中止されます。
- 画像は、カメラの解像度と同じサイズでキャプチャーされます。ただし、1920 × 1080 の場合は、1920 × 1088 となります。

アラームを解除する

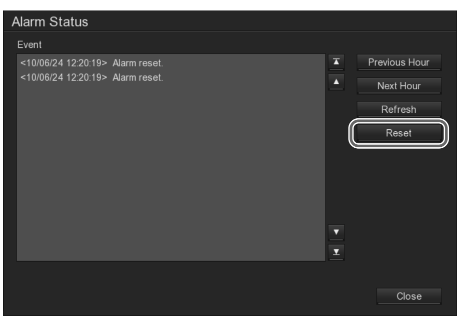
アラームが発報されると、本機から警報音が鳴ります。
その場合は、以下の手順でアラームを解除すると、警報音が止ります。

1 モニタリング（LIVE）画面右下の Alarm （アラームステータス）をクリックする。



「アラームの状態」画面が表示されます。

2 ［リセット］をクリックする。



アラームが解除され、警報音が止ります。

ご注意

- HDD の故障など、アラームのトリガーとなる要因が継続している場合は、上記の操作でアラームを解除しても、1 分間が経過すると再度アラームが発報されます。警報音が繰り返し鳴らないようにするには、「アラーム設定」画面 （59 ページ）で［警報音を出す］のチェックマークをはずしてください。
- アラーム発生時に E メールを送信するように設定している場合も、アラームのトリガーとなる要因が解除されるまで、1 分間に 1 通ずつ E メールが送信されます。E メールの送信を止めるには、「アラーム設定」画面 （59 ページ）で［E メール送信］のチェックマークをはずしてください。

システムの管理をする

ここでは、パスワードの変更とイベントログの確認について説明します。
そのほかの管理や設定については、第 4 章「各種設定と画面の詳細」（34 ページ）をご覧ください。

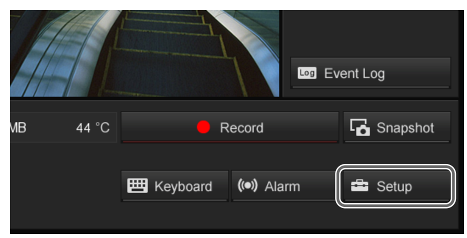
パスワードを変更する

NSR にログオンするためのパスワードを変更できます。

メモ

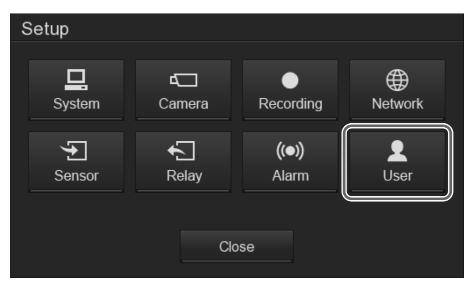
パスワードは、本機のセキュリティにおいて大変重要です。パスワードは厳重に管理してください。

1 モニタリング（LIVE）画面右下の Setup （システム設定）をクリックする。



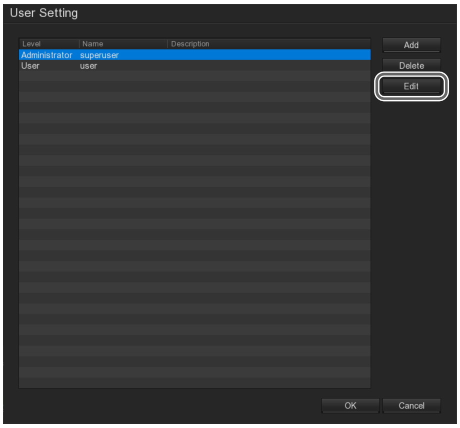
「Setup」画面が表示されます。

2 User （ユーザー設定）をクリックする。



「ユーザー設定」画面が表示されます。

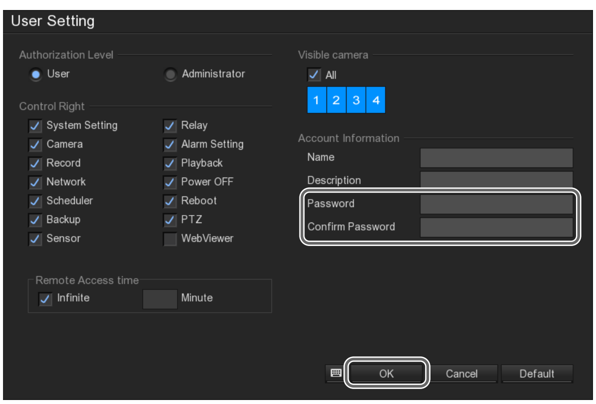
3 パスワードを変更したいユーザーを選択し、［編集］をクリックする。



「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力し、［OK］をクリックする。

［パスワード確認］には、同じパスワードをもう一度入力してください。

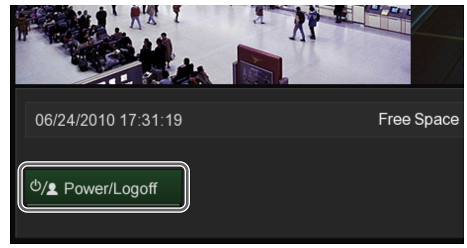


パスワードが変更されます。

5 「ユーザー設定」画面を閉じるときは、［OK］をクリックする。

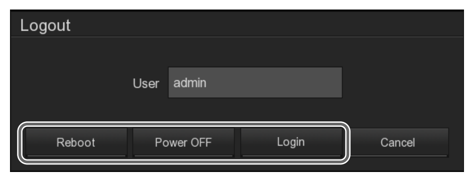
電源を切る／再起動する／ログオフする

1 モニタリング（LIVE）画面右下の（終了）をクリックする。



「ログアウト」画面が表示されます。

2 目的の操作のボタンをクリックする。



選択した操作が実行されます。

Web ブラウザーから モニタリングする（WebViewer） 第3章

概要

ネットワークに接続されているコンピューターから Web ブラウザー経由で本機にアクセスし、本機のクライアントとしてカメラからの画像をモニタリングできます。

WebViewer の動作環境

WebViewer の動作環境については、リリースノートを参照してください。
リリースノートは以下からダウンロードしてください。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

メモ

一部機能に制限があります。

本機にアクセスする際のご注意

本機にアクセスし、WebViewer でカメラからの画像をモニタリングするには、管理者権限が必要です。

Windows XP をお使いの場合

管理者権限のあるユーザーで Windows にログオンし、Internet Explorer を起動してください。

Windows Vista または Windows 7 をお使いの場合

Internet Explorer の実行に管理者権限が必要です。以下のことを行ってください。

① 「コントロールパネル」の「ユーザー」で、ユーザーの UAC レベルを下げる。
Windows Vista の場合：［ユーザーアカウント制御の有効化または無効化］で［無効化］を選択します。
Windows 7 の場合：［ユーザー アカウント制御設定の変更］でレベルを一番下にします。

② コンピューターを再起動した後、Internet Explorer を起動する。

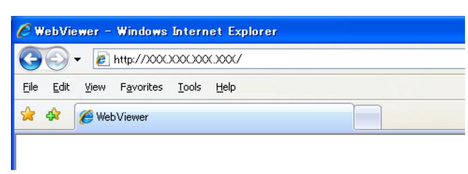
メモ

- 管理者権限がない状態で本機にアクセスすると、Internet Explorer が固まった状態になります。その場合は、Internet Explorer を強制終了するか、コンピューターを再起動してください。
- 管理者権限がない状態で本機にアクセスした場合は、C ドライブの Program Files フォルダーの下にある以下のフォルダーを削除してから、管理者の権限で Internet Explorer を起動し、本機に接続してください。
  C:¥Program Files¥remoteAP

Web ブラウザーから本機にアクセスする

1 コンピューターで Web ブラウザーを起動する。

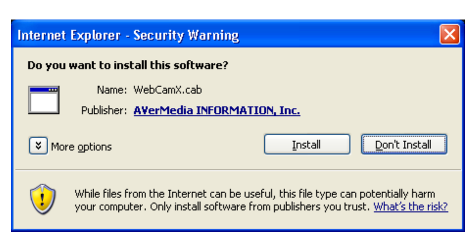
2 Web ブラウザーの「アドレス」欄に「http// <本機の IP アドレス>」と入力する。



「権限」画面が表示されます。

メモ

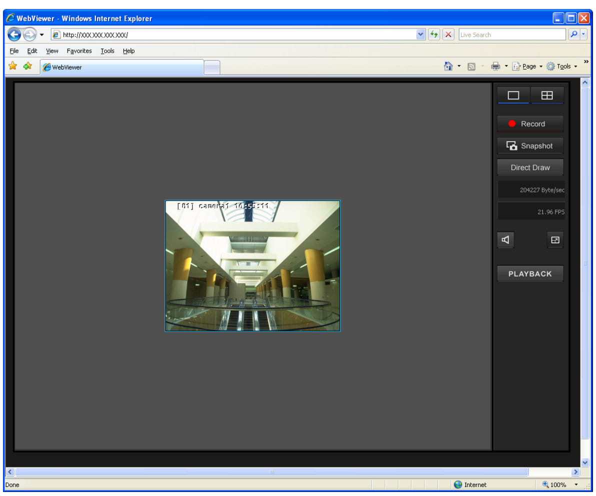
以下のような警告が表示される場合があります。その場合は、［インストールする］を選択してください。



3 ユーザーIDとパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

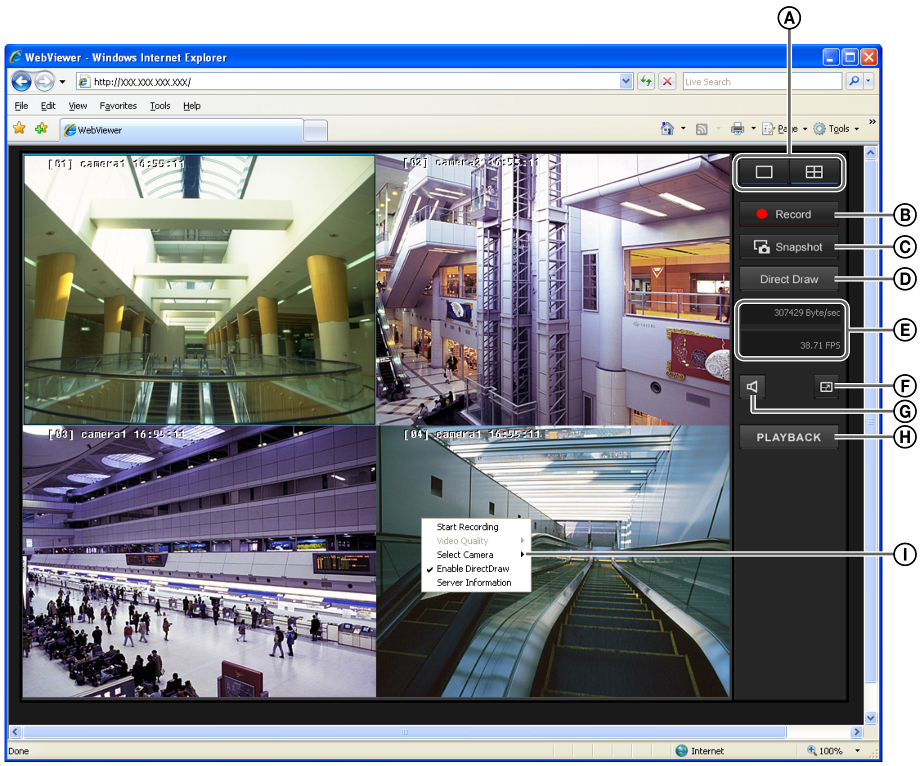


WebViewer ページが1 × 1（1 面）のレイアウトで表示されます。



WebViewer ページの機能と使いかた

本機の「メイン」画面と同様の操作でモニタリングが行えます。また、モニターフレーム上で右クリックして表示されるメニューも使用できます。



Ⓐ レイアウト切り替え

モニターフレームのレイアウトを切り替えます。

□ : 1 × 1（1 面）のレイアウトに切り替えます。

⊞ : 2 × 2（4 面）のレイアウトに切り替えます。

Ⓑ Record（録画開始）

ライブ画像を記録できます。

カメラからの画像が表示されているモニターフレームを選択し、このボタンをクリックすると記録が開始され、もう一度クリックすると終了します。

記録中は、モニターフレームの左上に ◤ が表示されます。

画像は AVI 形式のファイル（.avi）で保存されます。

また、動体検知の稼動中は、モニターフレームの左上に ◢ が表示されます。

メモ

WebViewer では、音声は記録されません。音声を記録したい場合は、NSR-S10/S20 本体で行ってください。

Ⓒ Snapshot（スナップショット）

記録画像の一場面を静止画ファイルとしてエクスポートします。

静止画はビットマップ（.bmp）でエクスポートされます。

Ⓓ Direct Draw（ダイレクトドロー）

ウェブカメラからの画像をよりきれいに表示します。

Ⓔ 情報表示

帯域（ネットワーク接続で画像を転送するために使用される帯域の値）とフレームレートが表示されます。

Ⓕ ⊡（全画面）

現在のレイアウト（モニターフレームの並び）で全画面表示します。

通常表示に戻るには、キーボードの Esc キーを押します。

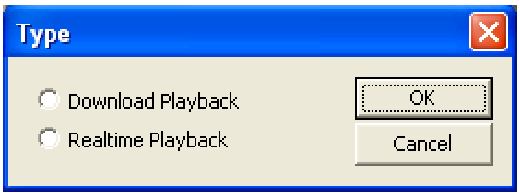
Ⓖ ◁（遠隔音声）

音声出力をオン／オフできます。

音声出力がオンのときは、モニターフレーム左上に ◁ が表示されます。

Ⓗ PLAYBACK（再生）

NSR-S10/S20 に記録されている画像を再生できます。
このボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。
再生タイプを選択し、［OK］をクリックすると、「NSR-S Viewer」画面 （33 ページ）が表示され、画像の再生操作が行えます。



Realtime Playback

NSR-S10/S20 本体に記録された映像をストリーミングで受信します。
任意のカメラ、日時を選択して再生できます。映像のエクスポートはできません。

Download Playback

NSR-S10/S20 本体に記録されている 1 つのカメラの 1 つの時間帯の画像を、コンピューターにダウンロードして再生します。
カメラと日時を選択すると、16 枚のサムネールが表示されますので、再生したい映像をクリックして赤枠で囲み、ダブルクリックして起動します。
巻戻しなどの再生コントロールを行って開始点／終了点を設定し、画像のエクスポートを行えます。

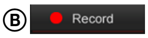
メモ

NSR-S10/S20 本体からの画像のダウンロードには数十秒かかる場合があります。

Ⓘ 右クリックメニュー

モニターフレーム上で右クリックすると表示されるメニューです。
以下のコマンドがあります。

録画開始

画像の記録を開始します。
使いかたは Ⓑ 

（記録開始）と同じです。

ビデオ品質

画像の解像度を選択できます。

カメラ選択

モニターフレームに表示させるカメラを選択できます。

ダイレクトドロー有効

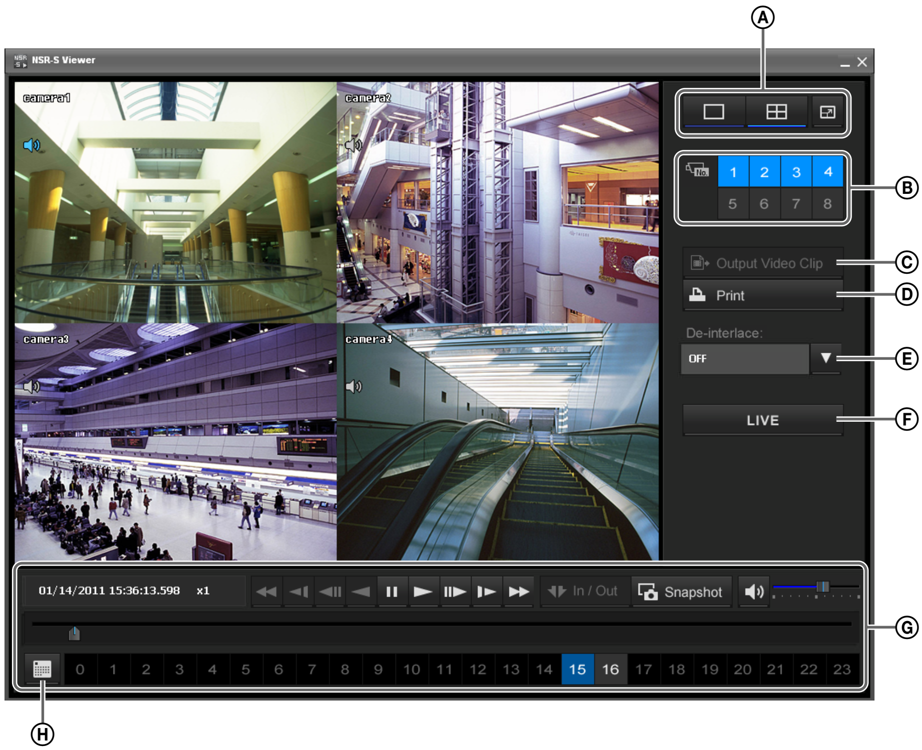
ダイレクトドロー機能の有効／無効を切り替えできます。

Server Information

接続しているサーバー（本機）に関する情報を表示します。

「NSR-S Viewer」画面

「NSR-S Viewer」画面は、WebViewer ページで［PLAYBACK］をクリックし、再生タイプを選択すると表示されます。
「NSR-S Viewer」画面では、NSR-S10/S20 に記録されている画像の再生操作が行えます。



Ⓐ PLAYBACK（再生）

モニターフレームのレイアウトを切り替えます。

：1 × 1（1 面）のレイアウトに切り替えます。

：2 × 2（4 面）のレイアウトに切り替えます。

：現在のレイアウト（モニターフレームの並び）で全画面表示します。
通常表示に戻るには、キーボードの Esc キーを押します。

Ⓑ カメラ ID

モニターフレームに画像を表示させるカメラを選択します。

Ⓒ Output Video Clip（エクスポート）

記録画像を独自形式のファイル（.dvr）として USB フラッシュメモリーにエクスポートできます。

Ⓓ Print（印刷）

表示されている画面を印刷します。

Ⓔ D-interlace

D-interlace モードを切り替えます。
1：動きのない画像
2：動きのある画像

Ⓕ LIVE

WebViewer の画面に戻ります。

Ⓖ 再生コントロールボタン

記録画像を再生するときに使います。
各ボタンの使いかたについては、「再生（PLAYBACK）画面の機能と使いかた」（23 ページ）をご覧ください。

Ⓗ 日時指定ボタン

日時を指定して記録を検索するときに使います。
（日付選択）をクリックすると、カレンダーが表示され、日にちと時間を指定できます。

各種設定と画面の詳細 第4章

各種設定を行う

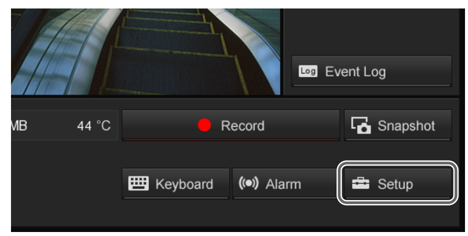
本機では、以下の設定が行えます。

設定メニュー	設定内容	参照先
システム設定	• 保存先の設定 • 記録データの保存に関する設定 • 画面の表示言語 • 構成データの保存／復元 • 再生モード • 日付フォーマット • オートスキャンの周期 • ログオンに関する設定 • 日時の設定 • ファームウェアアップデート	36 ページ
カメラ設定	• カメラの設定（IP アドレスやカメラ名、パスワードなど） • 画質に関する設定 • センサー入力設定 • リレー設定	41 ページ
録画設定	• 記録スケジュール • 動体検知	46 ページ
ネットワーク設定	• サーバー名 • IP アドレス • WebViewer の設定 • 時刻同期サーバーの設定 • リモートアクセス許可 • 帯域	51 ページ
センサー設定	• I/O デバイスのセンサー入力	54 ページ
リレー設定	• I/O デバイスのリレー	55 ページ
アラーム設定	• アラーム出力 • アクションの設定	57 ページ
ユーザー設定	• ユーザーの登録 • ユーザー権限に関する設定	63 ページ

「設定」画面を表示する

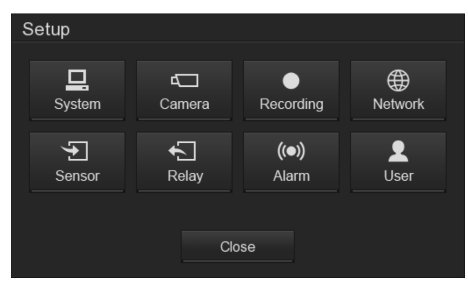
1 モニタリング（LIVE）画面右下の 

（システム設定）をクリックする。



「Setup」画面が表示されます。

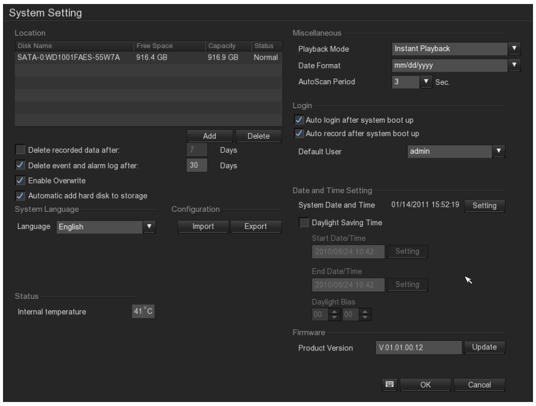
2 設定したい項目のボタンをクリックする。



ボタンに応じた設定画面が表示されます。

例）（システム設定）をクリックした場合

「システム設定」画面が表示されます。

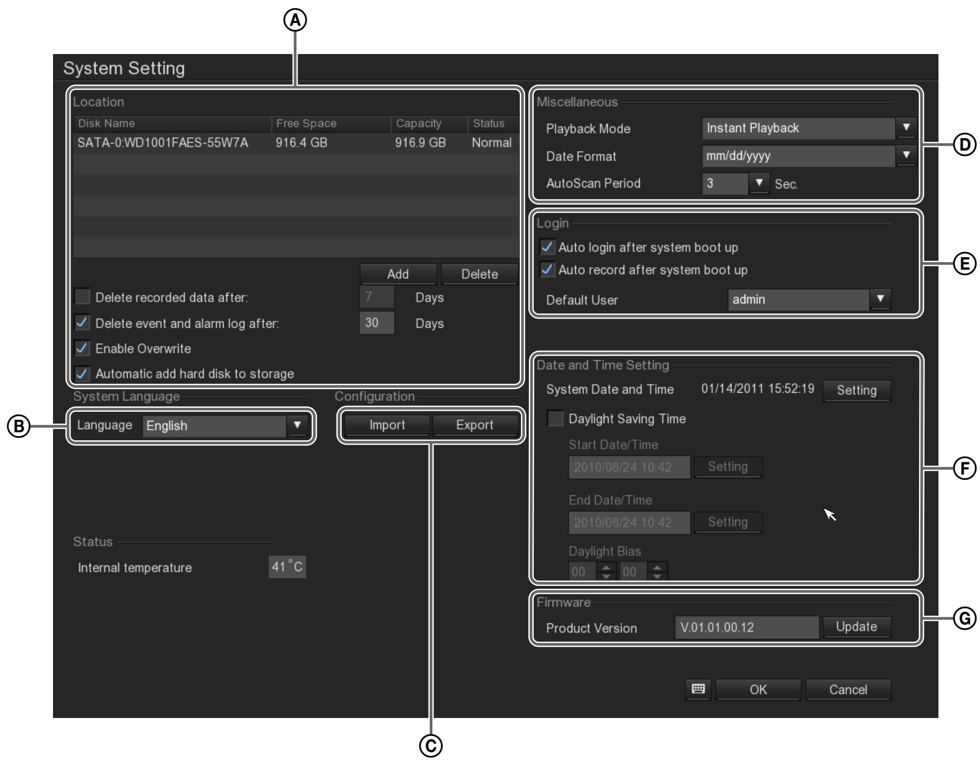


システム設定

ストレージの設定や記録データの保存、ログインパスワードなど、本機のシステムに関する設定は、「システム設定」画面で行います。

システムに関する設定をする

「システム設定」画面は、「Setup」画面で (システム設定) をクリックすると表示されます。
「システム設定」画面では、以下の設定が行えます。



Ⓐ 記録データの保存先を追加したり、記録データの削除に関する設定などが行えます。
各項目の詳細については、「保存先を追加する」（37 ページ）をご覧ください。

Ⓑ 画面の表示言語を選択できます。

Ⓒ 本機の構成データを外部メディアに保存したり、保存されている構成データを復元したりすることができます。
各項目の詳細については、「構成データを保存／復元する」（37 ページ）をご覧ください。

メモ

構成データには、本機の各種設定が含まれます。以前の設定に戻したいときなど、構成データを復元することによって簡単に設定を行うことができます。設定を変更した場合や、バージョンアップをした後など、定期的に構成データを保存しておくことをおすすめします。

Ⓓ 再生モードや日付フォーマット、オートスキャンの周期を設定できます。
各項目の詳細については、「その他」（40 ページ）をご覧ください。

Ⓔ 自動ログオンやログオン時のデフォルトユーザーなどを設定できます。
各項目の詳細については、「ログイン」（41 ページ）をご覧ください。

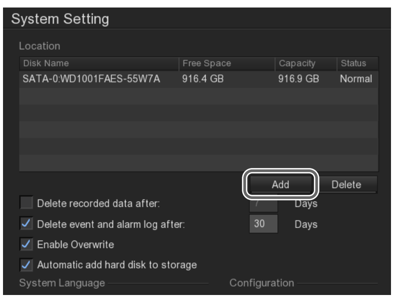
Ⓕ 本機の時計を合わせたり、夏時間の設定が行えます。
各項目の詳細については、「日時設定」（41 ページ）をご覧ください。

Ⓖ 本機のファームウェアをアップデートするときに使用します。
詳しくは、「ファームウェアのアップデート」（66 ページ）をご覧ください。

保存先を追加する

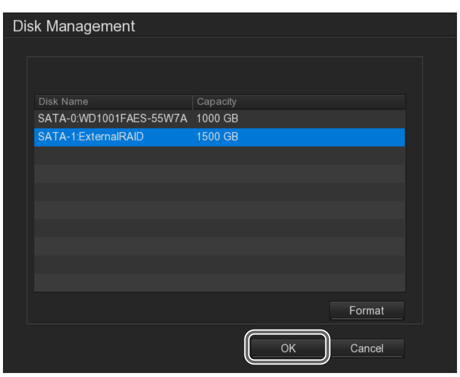
外部ストレージとして e-SATA ストレージを使用する場合に、記録データの保存先を追加します。e-SATA ストレージの使用については、『ファーストステップガイド』（PDF）をご覧ください。

1 保存先リストの下にある［追加］をクリックする。

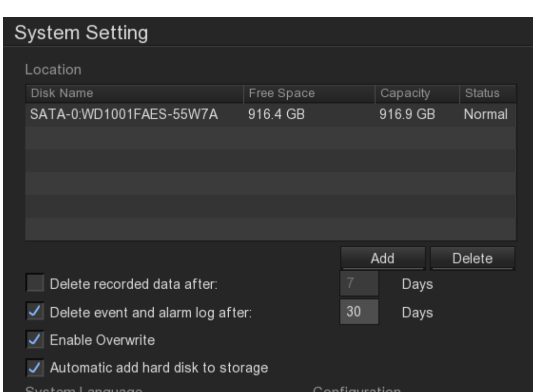


「ディスク管理」画面が表示されます。

2 保存先のディスクを選択し、［OK］をクリックする。



保存先が追加されます。



メモ

- HDD を搭載していないモデルの場合、［自動でハードディスクをストレージに追加する］にチェックマークを付けておくと、本機に外部ストレージを接続したときに、自動的に保存先として追加されます。なお、外部ストレージが保存先として追加されると、警告音が 30 秒間鳴ります。
- 外部ストレージが保存先に追加され、録画が開始されると、警告音により外部ストレージに記録されていることを確認できますが、本機にモニターを接続しないで使用する場合は、本機前面の HDD LED の点滅表示でも外部ストレージへの書き込みを確認することをお勧めします。

構成データを保存／復元する

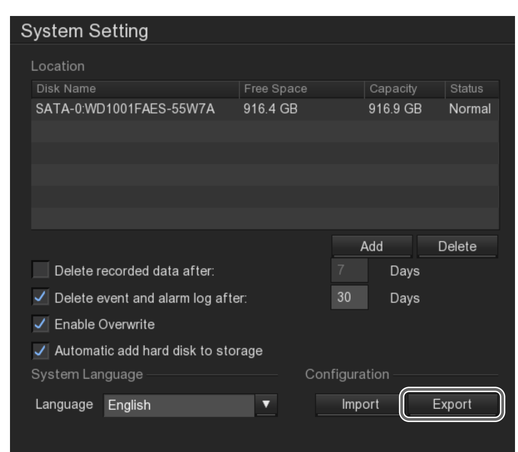
本機の構成データを外部メディアに保存したり、保存されている構成データを復元したりすることができます。

メモ

- 構成データには、本機の設定画面で設定可能な各種設定が含まれます。以前の設定に戻したいときなど、構成データを復元することによって簡単に設定を行うことができます。設定を変更した場合や、バージョンアップをした後など、定期的に構成データを保存しておくことをおすすめします。
- USB フラッシュメモリー以外の USB ストレージには対応していません。

構成データを保存する

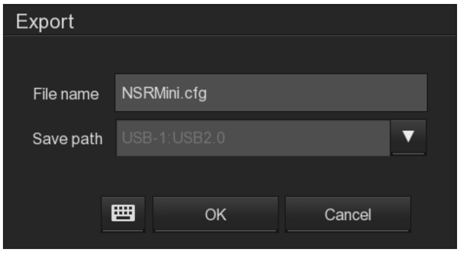
1 ［コンフィギュレーション］の［エクスポート］をクリックする。



「エクスポート」画面が表示されます。

2 構成データのファイル名を入力し、構成データを保存するメディアを選択して、［OK］をクリックする。

ファイル名は、半角英数字、一部の記号（.（ピリオド）、-（ハイフン）、_（アンダーバー））で入力します。

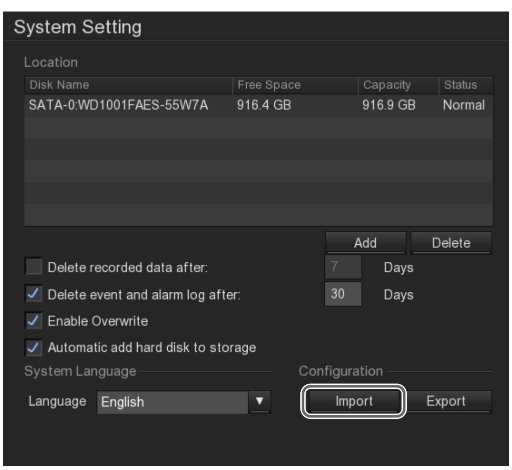


エクスポートが完了すると、メッセージが表示されます。

3 ［OK］をクリックする。

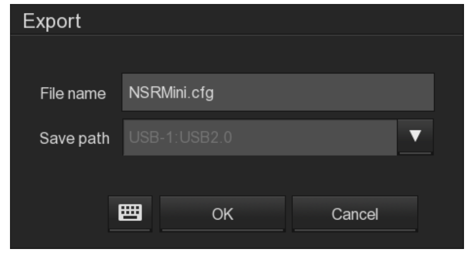
構成データを復元する

1 ［コンフィギュレーション］の［インポート］をクリックする。



「インポート」画面が表示されます。

2 構成データのファイル名を入力し、構成データが保存されているメディアを選択して、［OK］をクリックする。



この操作が本機の再起動を伴うことについての確認メッセージが表示されます。

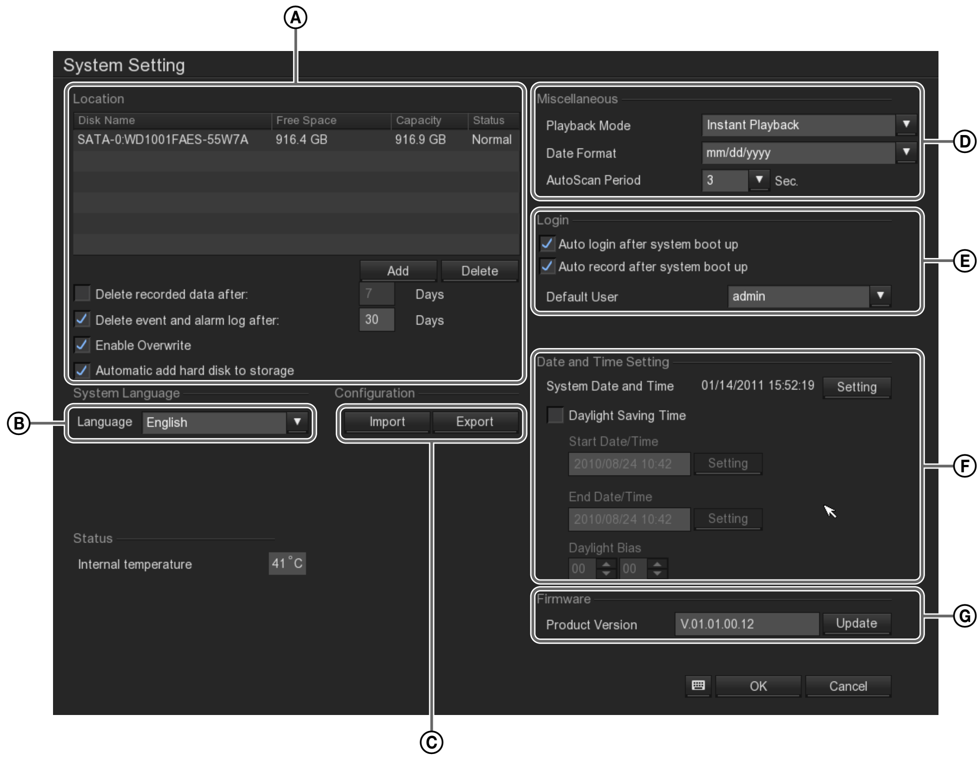
3 ［OK］をクリックする。

確認メッセージが表示されます。

4 ［OK］をクリックする。

インポートが終了すると、本機が再起動し、構成データが復元されます。

「システム設定」画面の詳細



Ⓐ 保存先

記録データの保存先や保存に関する設定を行います。

保存先リスト

設定されている保存先の情報が表示されます。

ご注意

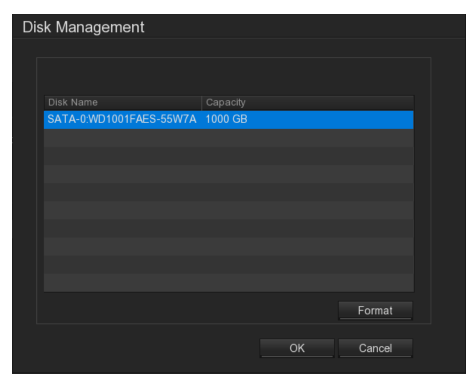
保存先リストに何も表示されていない場合は、カメラからの画像を記録することはできません。「保存先を追加する」（37 ページ）を参照し、保存先を追加してください。

追加

保存先を追加します。

このボタンをクリックすると、「ディスク管理」画面が表示されます。

追加したいディスクを選択し、［OK］をクリックすると、保存先リストに追加されます。



削除

保存先リストで選択した保存先を削除します。

次以降の録画データを削除

ディスクの空き容量を確保しておくために、記録データの保存日数を設定し、その日数を超えたデータを自動的に削除するときにチェックマークを付けます。

ここにチェックマークを付けたときは、記録データの保存日数を入力してください。

次以降のイベントとアラームログを削除

イベント履歴とアラーム履歴の保存日数を設定し、その日数を超えた履歴を自動的に削除するときにチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、イベント履歴とアラーム履歴の保存日数を入力してください。

上書きを有効にします

ディスクの空き容量を常に確保しておくために、経過日数に関係なく、古いデータから自動的に削除するときにチェックマークを付けます。

ご注意

データ上書き機能が設定されているとき、再生中のファイルが削除対象になった場合は、再生が停止し、ファイルが削除されます。

自動でハードディスクをストレージに追加する

HDD を搭載していないモデルの場合に、本機に外部ストレージを接続すると、自動的に保存先として追加します。

メモ

外部ストレージが保存先として追加されると、警告音が 30 秒間鳴ります。

Ⓑ 言語

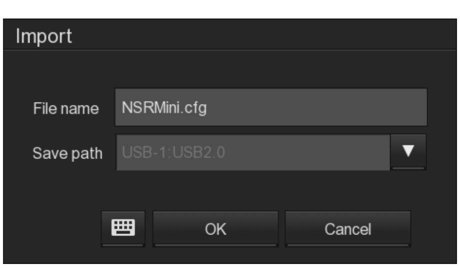
画面の表示言語を選択します。

Ⓒ コンフィギュレーション

本機の構成データを外部メディアに保存したり、保存されている構成データを復元したりすることができます。

インポート

保存されている構成データを復元します。
このボタンをクリックすると、「インポート」画面が表示されます。
構成データが保存されている場所を選択し、ファイル名を入力して、［OK］をクリックする。

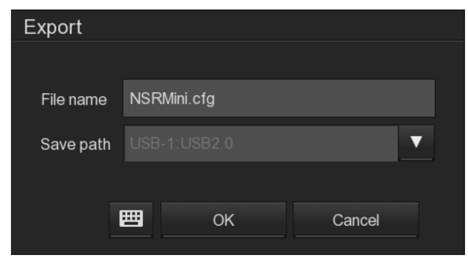


ご注意

構成データを復元した際には、それまで動作していた記録動作が自動的に停止します。記録スケジュールを設定していた場合は、復元後、自動的に記録が再開します。マニュアル記録を行っていた場合は、再度マニュアル記録を開始する必要があります。

エクスポート

本機の構成データを外部メディアに保存します。
このボタンをクリックすると、「エクスポート」画面が表示されます。
構成データを保存するメディアを選択し、構成データのファイル名を入力して、［OK］をクリックします。
ファイル名は、半角英数字、一部の記号（.（ピリオド）、-（ハイフン）、_（アンダーバー））で入力してください。



Ⓓ その他

再生モードや日付フォーマット、オートスキャンの周期を設定します。

再生モード

モニタリング（LIVE）画面から再生（PLAYBACK）画面に切り替えたときの動作を選択します。

前回のファイル再生

前回再生された日時の録画データを自動的に再生します。

日時を選択してください

再生する記録の日時を指定するための「日付／時刻によりビデオ再生選択」画面を表示します。

インスタント再生

直前に記録された画像を自動的に再生します。

日付のフォーマット

日付と時刻の形式を選択します。

オートスキャン周期

オートスキャン時に、各モニターフレームを表示させる時間を秒単位で設定します。

Ⓔ ログイン
ログオン時の動作を設定します。

システム起動時に自動ログインします

本機の起動時に自動的にログオンするときにチェックマークを付けます。

システム起動時に自動録画します

本機の起動時に自動的に録画を開始するときにチェックマークを付けます。

デフォルトユーザー

自動ログオン時のデフォルトユーザーを選択します。

Ⓕ 日時設定
本機の時計を設定します。

システム日時

現在の日付と時刻が表示されます。
［設定］をクリックすると、カレンダーが表示され、日付と時刻を変更できます。

サマータイム

夏時間を運用するときにチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、以下の項目を設定してください。

開始日時

夏時間の運用を開始する日時を設定します。
［設定］をクリックし、表示されるカレンダーで日時を設定してください。

終了日時

夏時間の運用を終了する日時を設定します。
［設定］をクリックし、表示されるカレンダーで日時を設定してください。

サマータイム時刻補正

通常の時刻に加える時間を設定します。

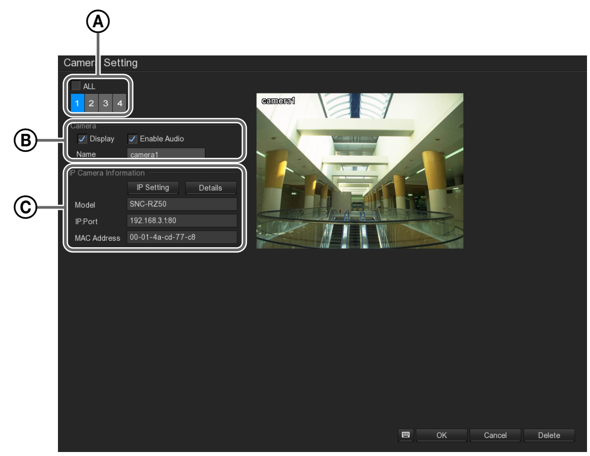
Ⓖ ファームウェア
本機のファームウェアをアップデートするときに使用します。
詳しくは、「ファームウェアのアップデート」（66 ページ）をご覧ください。

カメラ設定

カメラの IP アドレスやカメラ名、画質、センサー入力、リレーなど、カメラに関する設定は、「カメラ設定」画面で行います。

カメラに関する設定をする

「カメラ設定」画面は、「設定メニュー」画面で Camera（カメラ設定）をクリックすると表示されます。
「カメラ設定」画面では、以下の設定が行えます。



Ⓐ 設定対象のカメラを選択します。
カメラ ID を選択すると、右側のプレビューエリアにカメラからの画像が表示されます。
すべてのカメラを一括して設定するときは、［全部］にチェックマークを付けます。［全部］にチェックマークを付けたときは、カメラからの画像はプレビューできません。

Ⓑ 画像の表示や音声の有効／無効、カメラの名前などを設定できます。

ご注意

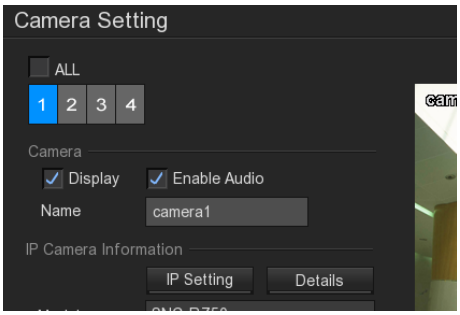
［表示］のチェックマークをはずすと、そのカメラからの画像がモニタリングできなくなります。カメラからの画像が表示されないときは、［表示］にチェックマークが付いているか確認してください。

Ⓒ カメラの IP アドレスや画質、センサー入力、リレーなどを設定したり、カメラに関する情報を確認できます。
IP カメラの IP アドレスの設定については「カメラの設定をする」（42 ページ）を、画質やセンサー入力、リレーに設定については「カメラを詳細に設定する」（42 ページ）をご覧ください。

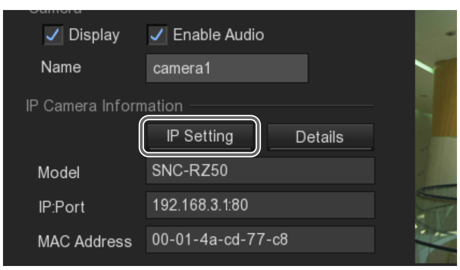
カメラの設定をする

カメラの IP アドレスや、カメラにアクセスするための ID とパスワードなどを設定できます。また、同一ネットワーク上に接続されているソニー製ネットワークカメラを探索し、IP アドレスなどを変更することもできます。

1 カメラ No. を選択する。



2 ［IP カメラ情報］の［IP 設定］をクリックする。

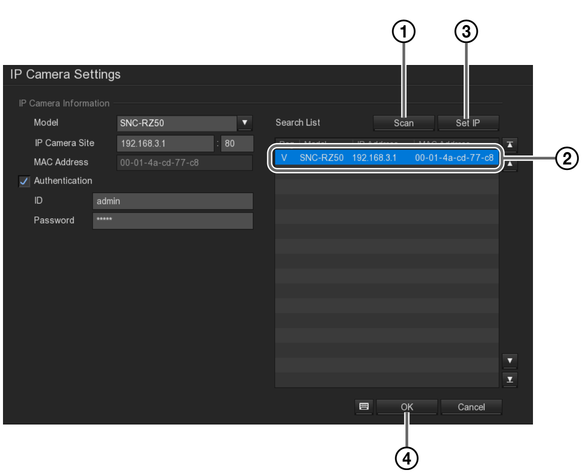


「IP カメラ設定」画面が表示されます。

3 各項目を設定する。

設定項目の詳細については、「カメラ設定」画面 （44 ページ）をご覧ください。

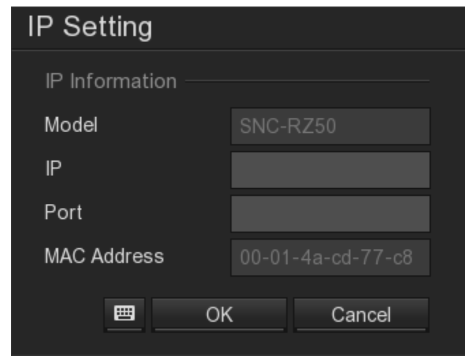
同一ネットワーク上に接続されているソニー製ネットワークカメラを探索し、IP アドレスなどを変更する場合は、次のように行います。



① ［Scan］をクリックする。
同一ネットワーク上に接続されているソニー製ネットワークカメラが探索され、リストに表示されます。

② 設定内容を変更したいカメラを選択し、［Set IP］をクリックする。
「IP 設定」画面が表示されます。

③ IP アドレスとポート番号を入力し、［OK］をクリックする。

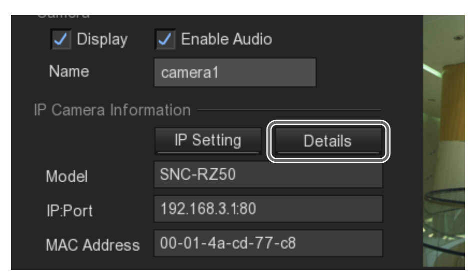


IP アドレスが変更されます。

カメラを詳細に設定する

画質やセンサー入力、リレーを設定できます。

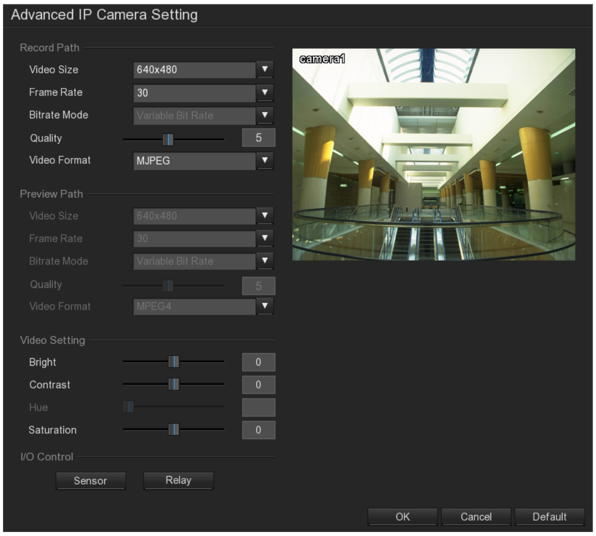
1 ［IP カメラ情報］の［詳細］をクリックする。



「高度 IP カメラ設定」画面が表示されます。

2 各項目で、画質の設定をする。

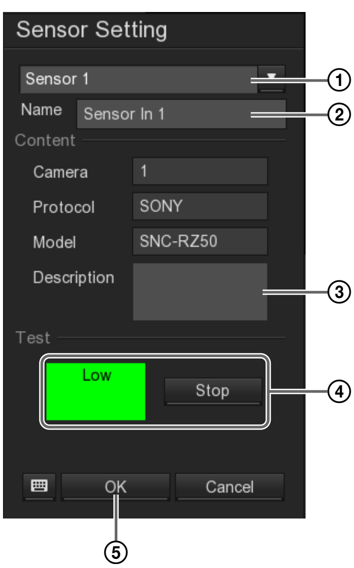
設定項目の詳細については、「高度 IP カメラ設定」画面 （45 ページ）をご覧ください。



3 センサー入力の設定をするときは、［センサー］をクリックする。

「センサー設定」画面が表示されます。

4 センサー入力の設定をする。



① センサー ID を選択する。

② センサー名を入力する。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > | を除く）です。

③ センサーの説明を入力する。

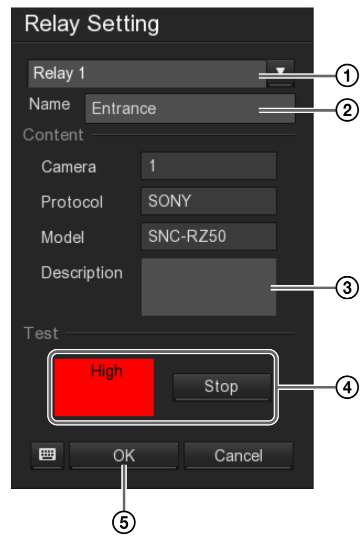
④［テスト］をクリックし、センサーの状態を確認する。
赤色が「高」で、緑色が「低」です。

⑤［OK］をクリックする。
設定が保存されます。

5 リレーの設定をするときは、［リレー］をクリックする。

「リレー設定」画面が表示されます。

6 リレーの設定をする。



① リレー ID を選択する。

② リレー名を入力する。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > | を除く）です。

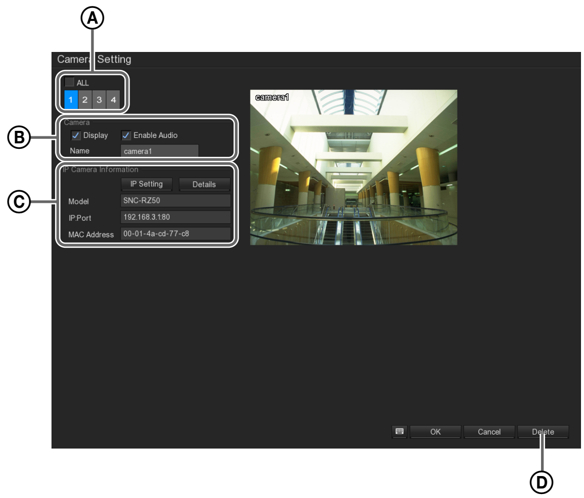
③ リレーの説明を入力する。

④［テスト］をクリックし、リレーの状態を確認する。
赤色が「高」で、緑色が「低」です。

⑤［OK］をクリックする。
設定が保存されます。

「カメラ設定」画面の詳細

「カメラ設定」画面



Ⓐ カメラ ID

設定対象のカメラを選択します。
カメラ ID を選択すると、右側のプレビューエリアにカメラからの画像が表示されます。

全部

すべてのカメラを一括して設定します。
ここにチェックマークを付けたときは、カメラからの画像はプレビューできません。

Ⓑ カメラ

画像の表示や音声入力の有効／無効、カメラの名前などを設定します。

表示

カメラからの画像を表示させるときにチェックマークを付けます。

ご注意

［表示］のチェックマークをはずすと、そのカメラからの画像がモニタリングできなくなります。カメラからの画像が表示されないときは、［表示］にチェックマークが付いているか確認してください。

音声有効

カメラからの音声を取得するときにチェックマークを付けます。

名前

カメラの名前を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > | を除く）です。

説明

カメラの説明を入力します。

Ⓒ IP カメラ情報

カメラの IP アドレスや画質、センサー入力、リレーなどを設定したり、カメラに関する情報を確認できます。

IP 設定

「IP カメラ設定」画面 （44 ページ）を表示します。
「IP カメラ設定」画面では、カメラの IP アドレスの変更や、同一ネットワークに接続されているソニー製ネットワークカメラの探索などを行えます。

詳細

「高度 IP カメラ設定」画面 （45 ページ）を表示します。
「高度 IP カメラ設定」画面では、画質の設定やセンサー入力、リレーの設定などが行えます。

モデル

カメラの型式が表示されます。

IP：ポート

カメラの IP アドレスとポート番号が表示されます。

MAC アドレス

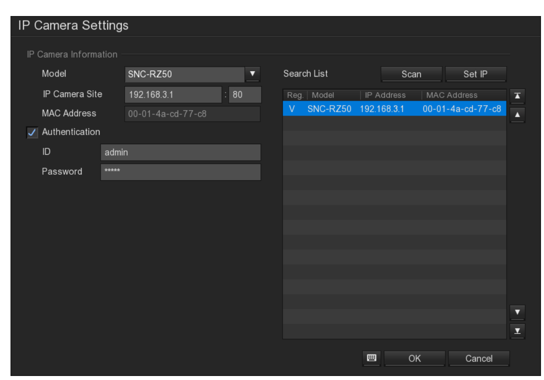
カメラの MAC アドレスが表示されます。

Ⓓ デフォルト

各設定を初期値に戻します。

「IP カメラ設定」画面

本画面は、「カメラ設定」画面で［IP 設定］をクリックすると表示されます。



プロトコル

プロトコルでカメラと通信するときに選択します。
ここを選択したときは、ドロップダウンリストから使用するプロトコルを選択します。

モデル
カメラの型式を選択します。

IP カメラサイト
カメラの IP アドレスとポート番号を入力します。

MAC アドレス
カメラの MAC アドレスが表示されます。

ユーザー識別
ユーザー認証を行う場合にチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、以下の項目を設定してください。

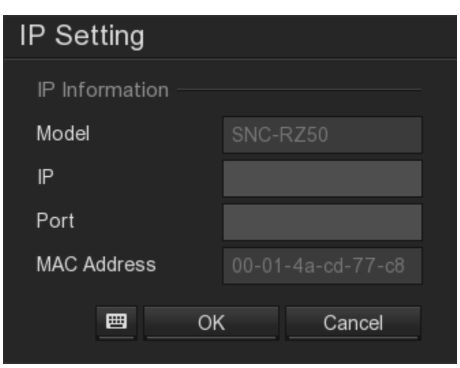
ユーザー ID
認証のためのユーザー ID を入力します。

パスワード
認証のためのパスワードを入力します。

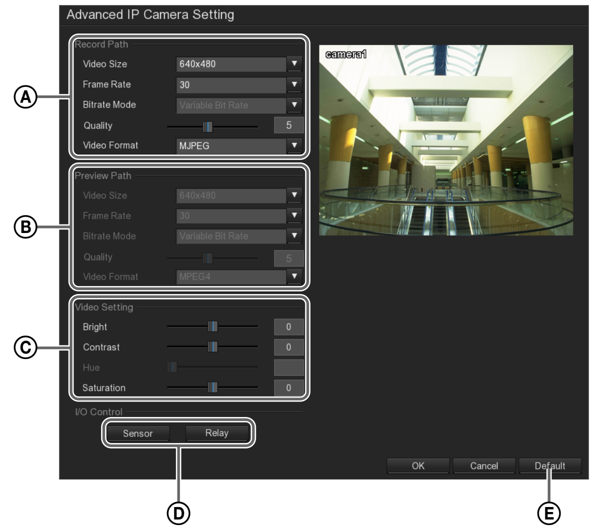
検索リスト
探索されたカメラの情報が一覧表示されます。

スキャン
同一セグメントに接続されているソニー製ネットワークカメラを探索し、リストに表示します。（最大 32 チャンネル）

IP 設定
探索されたカメラの IP アドレスなどを変更するときに使います。
リストでカメラを選択し、このボタンをクリックすると、「IP 設定」画面が表示されます。各項目を設定し、［OK］をクリックすると、変更が保存されます。



「高度 IP カメラ設定」画面
本画面は、「カメラ設定」画面で［詳細］をクリックすると表示されます。



Ⓐ 録画
記録画像に関する設定が行えます。

ビデオサイズ
カメラの解像度を選択します。

フレームレート
カメラのフレームレートを選択します。

ビットレートモード
カメラのビットレートモードを選択します。

品質
カメラの画質を設定します。

ビデオ形式
カメラの画像形式を選択します。

Ⓑ 表示
表示画像に関する設定が行えます。

ビデオサイズ
カメラの解像度を選択します。

フレームレート
カメラのフレームレートを選択します。

ビットレートモード
カメラのビットレートモードを選択します。

品質
カメラの画質を設定します。

ビデオ形式

カメラの画像形式を選択します。

Ⓒ ビデオ設定

カメラから取り込む画像に関する設定が行えます。

明るさ

スライダーを動かすか数値を入力して、カメラから取り込む画像の明るさを調整します。

コントラスト

スライダーを動かすか数値を入力して、カメラから取り込む画像のコントラストを調整します。

色合い

スライダーを動かすか数値を入力して、カメラから取り込む画像の色合いを調整します。

彩度

スライダーを動かすか数値を入力して、カメラから取り込む画像の彩度を調整します。

Ⓓ I/O コントロール

センサー入力やリレーの設定が行えます。
設定方法については、「カメラを詳細に設定する」（42 ページ）をご覧ください。

センサー

センサー入力を設定するための「センサー設定」画面を表示します。

リレー

リレーを設定するための「リレー設定」画面を表示します。

Ⓔ デフォルト

各設定を初期値に戻します。

録画設定

記録のスケジュールを設定し、規則的に記録を行ったり、アラームが発生したときに記録を開始するように設定できます。

記録スケジュールの設定について

NSR-S10/S20 の記録スケジュールには、次の録画モードがあります。

- **常時記録**
  設定したスケジュールに従って、規則的にカメラからの画像を記録します。
- **動体検知記録**
  スケジュールを設定した期間内に動いている物体を検知したときにだけ記録を開始します。
- **記録しない**
  スケジュール記録を行いません。

単一の録画モードで運用することも、3 種類の録画モードを組み合わせて運用することもできます。また、アラームや再起動を無効にする期間を設定することもできます。

例 1）平日の昼間は「常時記録」、夜間は「動体検知記録」、週末は「記録しない」ように設定する。
設定方法は、「録画モードを組み合わせてスケジュール記録を設定する」（47 ページ）をご覧ください。

例 2）特定の日時や期間だけ録画を行わないように設定する。
設定方法は、「スケジュールを設定する」（48 ページ）をご覧ください。

例 3）アラームや再起動を無効にする期間を設定する。
設定方法は、「スケジュールを設定する」（48 ページ）をご覧ください。

アラーム記録について

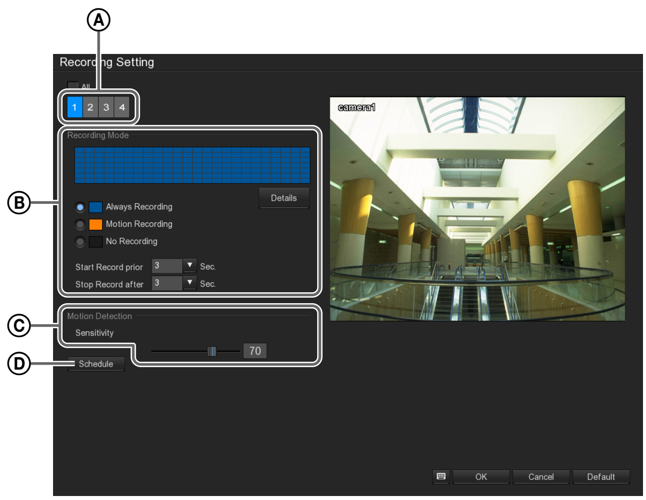
NSR-S10/S20 では、カメラ単体の動体検知記録だけでなく、ほかのカメラの動体検知やセンサー入力などの条件を組み合わせて記録を行うことができます。
その場合は、以下の設定を行ってください。

- 「録画設定」画面 （49 ページ）で、［録画モード］を［記録しない］に設定する。
- 「アラーム設定」画面 （59 ページ）で、［アクション］に［録画開始］を選択する。

記録に関する設定は、「録画設定」画面で行います。

記録に関する設定をする

「録画設定」画面は、「設定メニュー」画面で [Recording] (録画設定) をクリックすると表示されます。
「録画設定」画面では、以下の設定が行えます。



Ⓐ 設定対象のカメラを選択します。
すべてのカメラに同じ設定をするときは、［全部］にチェックマークを付けます。

Ⓑ スケジュールを実行する曜日と時間帯を設定できます。
設定方法については「録画モードを組み合わせてスケジュール記録を設定する」（47 ページ）をご覧ください。

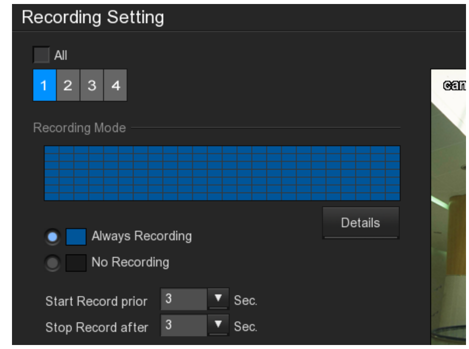
Ⓒ 動いている物体を検知する感度を設定します。

Ⓓ 記録のスケジュールを設定するときに使用します。
詳しくは、「スケジュールを設定する」（48 ページ）をご覧ください。

録画モードを組み合わせてスケジュール記録を設定する

録画モードを組み合わせて、スケジュールを実行する曜日と時間帯を設定できます。例えば、平日の昼間は「常時記録」、夜間は「動体検知記録」、週末は「記録しない」ように設定することが可能です。

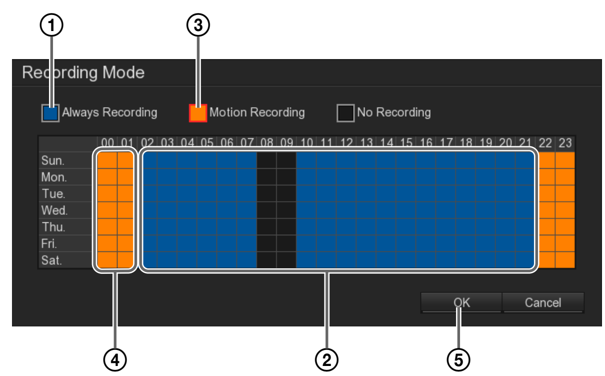
1 ［録画モード］の［詳細］をクリックする。



「録画モード」画面が表示されます。

2 記録のタイムテーブルを作成する。

例）常時記録と動体検知記録、録画しないを組み合わせる場合



① ［常時記録］を選択する。
選択されると、赤枠が付きます。

② マスの中をクリックし、設定したい曜日と時間帯を青色に塗りつぶす。

③ ［動体検知記録］を選択する。
カメラ側の動体検知機能が使えず、本機で動体検知をする場合に設定を行います。
カメラの動体検知機能を使う場合は、カメラ側で設定を行ってください。

本機の動体検知を使用する機種については、リリースノートを参照してください。
リリースノートは以下からダウンロードしてください。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

④ 同様にして、設定したい曜日と時間帯をオレンジ色に塗りつぶす。

メモ

録画しない曜日と時間帯は、黒色のままにします。

⑤［OK］をクリックする。

3　［OK］をクリックする。

設定が保存されます。

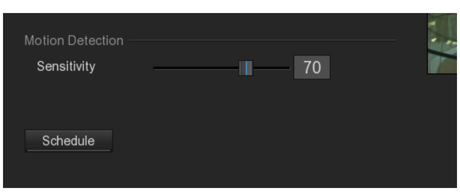
スケジュールを設定する

本機では、以下のスケジュールを設定できます。
- 録画
- アラーム無効
- 再起動

ご注意

カメラごとに個別のスケジュールを設定することはできません。

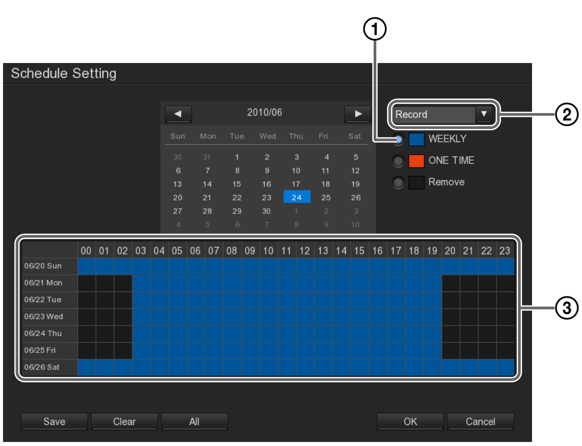
1　［スケジュール］をクリックする。



「スケジュール設定」画面が表示されます。

2　スケジュールを設定する。

1 週間単位でスケジュールを繰り返す場合



① 設定したい動作を選択する。

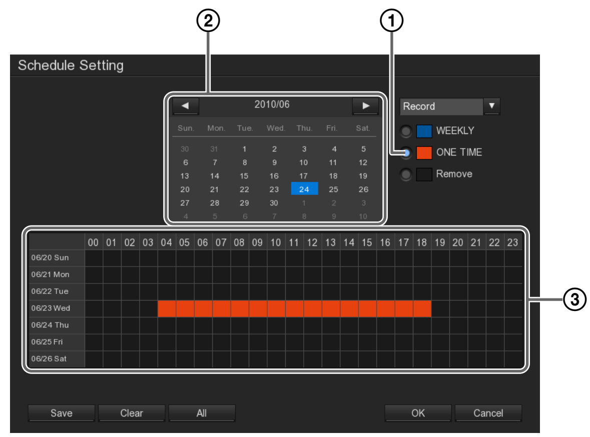
②［週間スケジュール］を選択する。

③ マスの中をクリックし、スケジュールを実行する曜日と時間帯を塗りつぶす。

④［保存］をクリックする。
設定が保存されます。

⑤ ほかの動作も設定したいときは、② ～ ④ を繰り返す。

スケジュールを実行する日時を指定する場合



①［一回有効］を選択する。

② 設定したい動作を選択する。

③ カレンダーで、スケジュールを実行する日を選択する。

④ マスの中をクリックし、スケジュールを実行する曜日と時間帯を塗りつぶす。

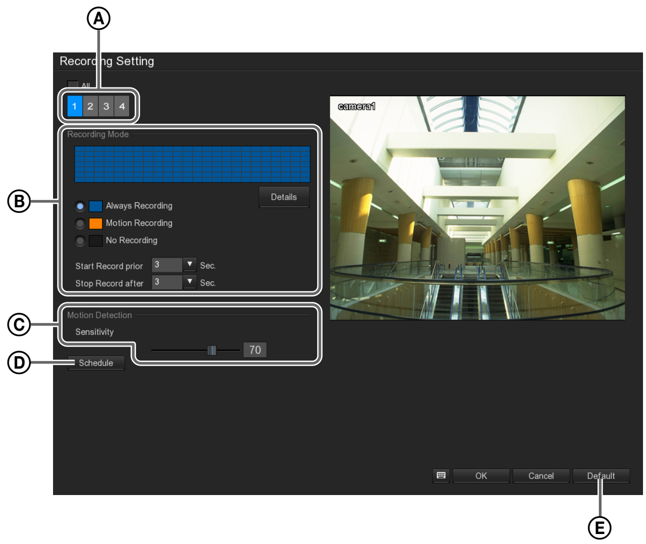
⑤［保存］をクリックする。
設定が保存されます。

⑥ ほかの動作も設定したいときは、② ～ ⑤ を繰り返す。

3　［OK］をクリックする。

「録画設定」画面の詳細

「録画設定」画面



Ⓐ カメラ ID

設定対象のカメラを選択します。
カメラを選択すると、右側のプレビューエリアにカメラからの画像が表示されます。

全部

すべてのカメラに同じ設定を行うときにチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、カメラからの画像はプレビューできません。

Ⓑ 録画モード

スケジュールを実行する曜日と時間帯や、実行する動作を設定できます。

常時記録

設定したスケジュールに従って、規則的にカメラからの画像を記録します。

動体検知記録

スケジュールを設定した期間内に動いている物体を検知したときにだけ記録を開始します。
ここを選択したときは、［動体検知前の画像の保存期間］と［動体検知後の画像の録画期間］で、動きを検知する前後の記録期間を設定してください。

記録しない

スケジュール記録を行いません。

詳細

「録画モード」画面を表示します。
「録画モード」画面では、スケジュールを実行する曜日と時間帯や、実行する動作を設定できます。設定方法は、「録画モードを組み合わせてスケジュール記録を設定する」（47 ページ）をご覧ください。

動体検知前の画像の保存期間

動いている物体を検知する前の画像にさかのぼって保存する期間を秒単位で入力します。

メモ

- 本機能は、全カメラ共通の設定です。
- 動体検知前の記録は、最大で 1 fps（1 秒に 1 フレーム）となります。また、動体検知が発生する前の記録期間は、カメラの解像度やビットレートの設定により異なります。詳細はリリースノートを参照してください。
  リリースノートは以下からダウンロードしてください。
  http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

動体検知後の画像の録画期間

動きが検知されなくなった時点から記録を終了するまでの期間を秒単位で入力します。

メモ

本機能は、全カメラ共通の設定です。

Ⓒ 動体検知

カメラ側の動体検知機能が使えず、本機で動体検知をする場合に設定を行います。
カメラの動体検知機能を使う場合は、カメラ側で設定を行ってください。

本機の動体検知を使用する機種については、リリースノートを参照してください。
リリースノートは以下からダウンロードしてください。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

スライダーを動かすか数値を入力して、動いている物体を検知する感度を設定します。
数値が高いほど検知する感度が上がります。
カメラが動いている物体を検知すると、モニターフレームの左上に緑色の四角形が表示されます。

Ⓓ スケジュール

「スケジュール設定」画面を表示します。
「スケジュール設定」画面では、記録のスケジュールを設定します。設定方法は、「スケジュールを設定する」（48 ページ）をご覧ください。

Ⓔ デフォルト

各設定を初期値に戻します。

ネットワーク設定

本機のサーバー名や IP アドレスなどのネットワークの設定、アクセス制限などの設定が行えます。
ネットワークに関する設定は、「ネットワーク設定」画面で行います。

ネットワークに関する設定をする

「ネットワーク設定」画面は、「設定メニュー」画面で （ネットワーク設定）をクリックすると表示されます。
「ネットワーク設定」画面では、以下の設定が行えます。



Ⓐ 本機のサーバー名を設定します。

Ⓑ 本機のIPアドレスや遠隔コンソールのポート番号の設定などが行えます。

Ⓒ ネットワーク経由でファームウェアのアップデートを行うときに使用するポート番号を設定します。

Ⓓ WebViewer へのアクセスに関する設定が行えます。

Ⓔ 時刻同期サーバーを設定します。

Ⓕ 本機へのアクセス制限や回線容量制限が設定できます。

「ネットワーク設定」画面の詳細

「ネットワーク設定」画面



Ⓐ サーバー名

本機のサーバー名を入力します。
使用できる文字は、半角英数字のみです。

Ⓑ 主要のコンフィギュレーション

本機の IP アドレスやリモートコンソールのポート番号の設定などが行えます。

LAN1 IP

LAN 端子 1 の IP アドレスを表示します。

LAN2 IP

LAN 端子 2 の IP アドレスを表示します。

設定

「システム IP 設定」画面 （53 ページ）を表示します。
「システム IP 設定」画面では、IP アドレスの設定方法を指定します。

遠隔コンソールポート

インターネット経由で本機にリモートでアクセスする場合に、使用するポート番号を入力します。

Ⓒ リモート更新設定（将来拡張用）

Ⓓ ウェブビューアーのコンフィギュレーション

クライアントコンピューターから Web ブラウザー経由で本機にアクセスする WebViewer 機能を使用する際の設定を行います。

匿名にログインします

匿名（アノニマス）でのログインを許可する場合にチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けると、クライアントコンピューターの Web ブラウザーから本機にアクセスするときにパスワードの入力が不要になります。

ウェブビューアーポート

WebViewer で使用するポート番号を入力します。

Ⓔ ネットワーク時刻同期

時刻同期サーバーを設定します。

時間サーバー

時刻を取得する NTP サーバーの IP アドレスを入力します。

タイムゾーン

日付と時刻を設定する地域を選択します。

自動同期化

毎日決まった時間に時刻を取得する場合にチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、時刻を取得する時間を選択してください。

今すぐ時刻を同期します

このボタンをクリックすると、現在の時刻を取得できます。

Ⓕ その他のコンフィギュレーション

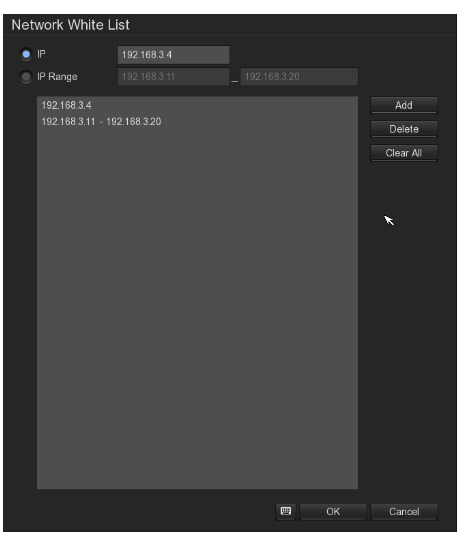
本機へのアクセス制限や回線容量制限が設定できます。

ホワイトリスト有効

本機へのアクセス制限を行うときに、リモートアクセスや WebViewer からのアクセスを許可する IP アドレスのリスト（ネットワークホワイトリスト）を作成できます。
ネットワークホワイトリストを有効にするときにチェックマークを付けます。

詳細

「ネットワークホワイトリスト」画面が表示されます。
「ネットワークホワイトリスト」画面では、リモートアクセスを許可する IP アドレスのリストを作成できます。
［IP］または［IP 範囲］を選択して、アクセスを許可する IP アドレスを入力し、［追加］をクリックすると、リストに追加されます。

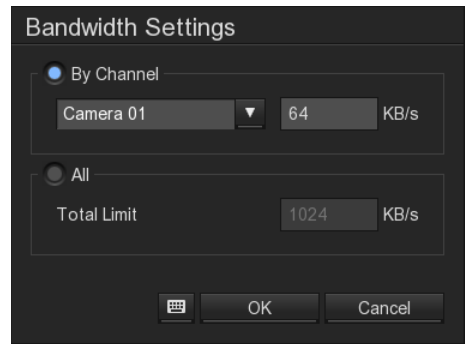


ネットワーク回線容量制限

ネットワーク接続で使用する回線の容量制限を行うときにチェックマークを付けます。

詳細

「回線容量制限」画面が表示されます。
「回線容量制限」画面では、ネットワーク接続で画像を転送するために使用する帯域の上限値を設定できます。
チャンネルごとに上限値を設定するときは［チャンネル］を選択し、各チャンネルごとに上限値を入力します。
全チャンネルの合計で上限値を設定するときは［全部］を選択し、合計の上限値を入力します。

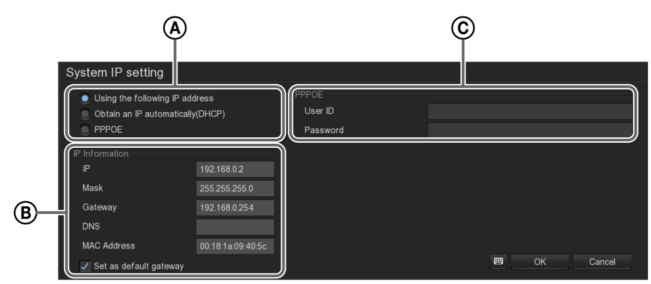


Ⓖ デフォルト

各設定を初期値に戻します。

「システム IP 設定」画面

本画面は、「ネットワーク設定」画面で［主要のコンフィギュレーション］の［設定］をクリックすると表示されます。



Ⓐ 次の IP アドレスを使います

手動で IP アドレスを設定する場合に選択します。
ここを選択したときは、［IP 情報］の各項目を設定します。

IP を自動的に取得（DHCP）

DHCP を利用してアドレス設定を自動取得する場合に選択します。

PPPOE

ADSL などの PPPoE 回線でインターネットに接続している場合に選択します。
ここを選択したときは、［PPPOE］の各項目を設定します。

Ⓑ IP 情報

手動で IP アドレスを設定する場合に、各項目を設定します。

IP

IP アドレスを入力します。

マスク

サブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ローカルネットワークのみの場合や他のネットワークへの接続が必要ない場合は、入力しないでください。

DNS

DNS（Domain Name Server）の IP アドレスを入力します。
DNS がない場合や必要としない場合は、入力しないでください。

MAC アドレス

本機の MAC アドレスが表示されます。

Set as default gateway

本機をデフォルトゲートウェイにする場合にチェックマークを付けます。

Ⓒ PPPOE

ADSL などの PPPoE 回線でインターネットに接続している場合に、各項目を設定します。
インターネットサービスプロバイダー契約時の情報を元に設定してください。詳しくは、インターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

ユーザー ID

インターネットサービスプロバイダーから付与されたユーザー名を入力します。

パスワード

インターネットサービスプロバイダーから付与されたパスワードを入力します。

センサー設定

本機のセンサー入力に関する設定を行います。
センサー入力は、アクションやスケジュール記録のイベントに指定して使用できます。

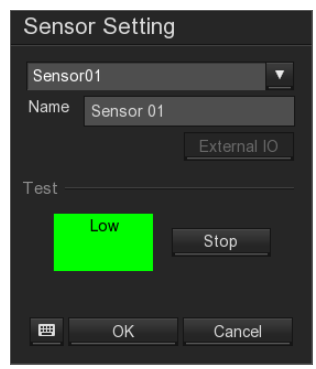
センサー入力の例）

温度、湿度、煙、振動、セキュリティ、赤外線、超音波など。

センサー入力の設定は、「センサー設定」画面で行います。

センサー入力に関する設定をする

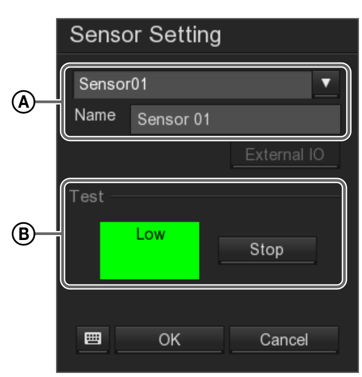
「センサー設定」画面は、「設定メニュー」画面で （センサー設定）をクリックすると表示されます。
各項目を設定したら、［テスト］をクリックしてセンサーの状態を確認してください。



メモ

センサー入力を使用するには、デバイス側のセンサー入力端子設定も有効にしておく必要があります。

「センサー設定」画面の詳細



Ⓐ センサー
ドロップダウンリストから設定したいセンサーを選択します。
ドロップダウンリストには、自動的に検出された本機システムに接続されている I/O デバイスが表示されています。

名前
センサー入力の名前を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > | を除く）です。

Ⓑ テスト
［テスト］をクリックすると、センサー入力の状態を確認できます。
赤色が「高」で、緑色が「低」です。
テストを終了するときは、［停止］をクリックします。

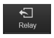
リレー設定

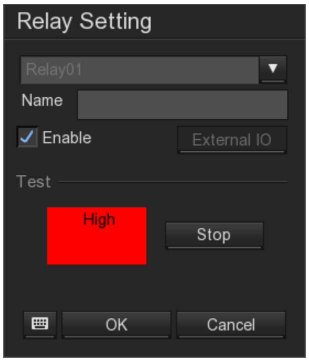
本機のリレー出力に関する設定を行います。
パトランプやドアの開放など、入力アラーム機能を持つデバイスへのリレー（アラーム送出）に使われます。

リレーの例）
警報サイレン、パトランプ、照明、ドアなど。

リレーの設定は、「センサー設定」画面で行います。

リレーに関する設定をする

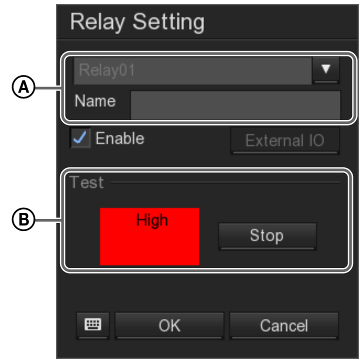
「リレー設定」画面は、「設定メニュー」画面で （リレー設定）をクリックすると表示されます。
各項目を設定したら、［テスト］をクリックしてリレーの状態を確認してください。



メモ

リレーを使用するには、デバイス側のアラーム出力端子設定も有効にしておく必要があります。

「リレー設定」画面の詳細



Ⓐ リレー

ドロップダウンリストから設定したいリレーを選択します。
ドロップダウンリストには、自動的に検出された NSR システムに接続されている I/O デバイスが表示されています。

名前

リレーの名前を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > | を除く）です。

有効

リレー設定を有効にするときにチェックマークを付けます。

Ⓑ テスト

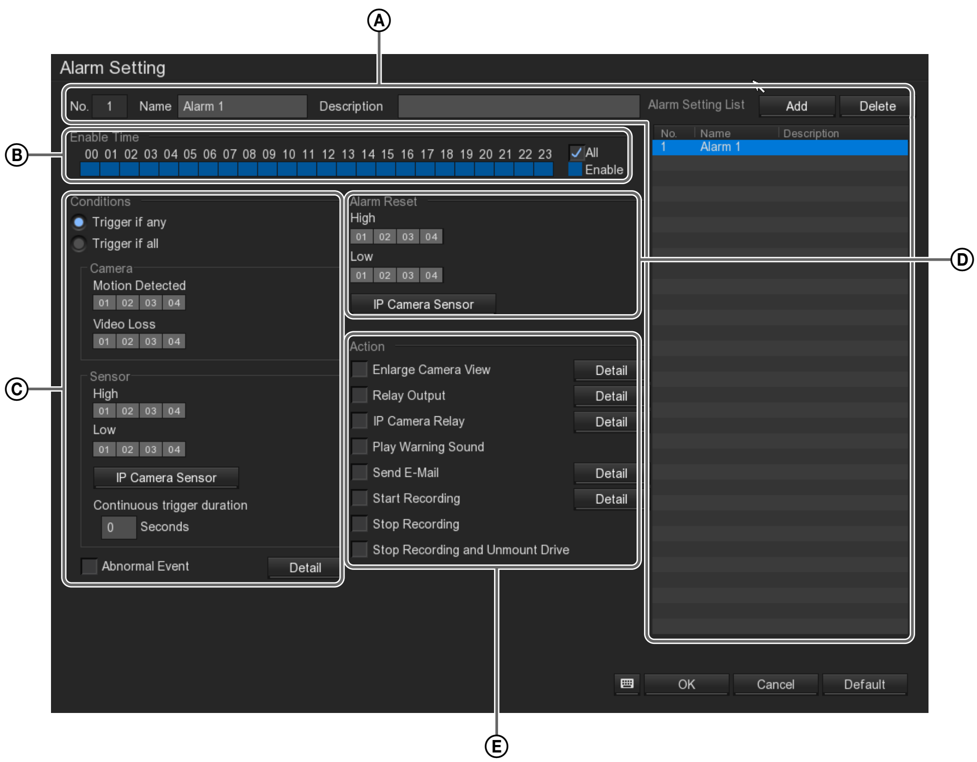
［テスト］をクリックすると、リレーの状態を確認できます。
赤色が「高」で、緑色が「低」です。
テストを終了するときは、［停止］をクリックします。

アラーム設定

本機では、センサー入力や動体検知などのトリガーをアラームとして設定することで、記録やアクションを行うことができます。

アラームに関する設定をする

「アラーム設定」画面は、「設定メニュー」画面で （アラーム設定）をクリックすると表示されます。
「アラーム設定」画面では、以下の設定が行えます。



Ⓐ アラームの設定を登録します。
詳しくは、「アラームの設定を登録する」（58 ページ）をご覧ください。

Ⓑ アラームの設定を運用する時間帯を指定できます。

Ⓒ アラームを発生させる条件を指定できます。
条件には、アラームのトリガーとなるカメラやセンサーの状態、本機のハード的な異常を指定できます。
各項目の詳細については、「条件」（59 ページ）をご覧ください。

Ⓓ アラームを解除するときのセンサーの状態を設定できます。
各項目の詳細については、「アラームリセット」（60 ページ）をご覧ください。

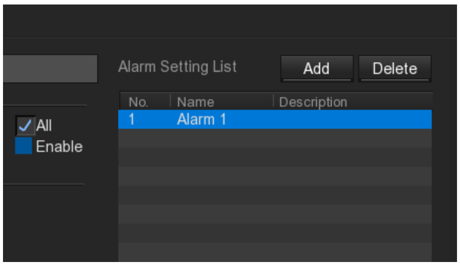
Ⓔ アラームが発生したときに行うアクションを設定できます。
各項目の詳細については、「アクション」（60 ページ）をご覧ください。

アラームの設定を登録する

アラームの設定をリストに登録します。

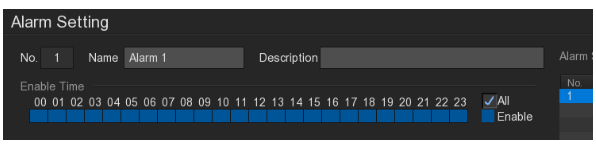
1 ［追加］をクリックする。

リストに設定が登録されます。



2 アラームの設定名と説明を入力する。

番号は連番で付けられます。

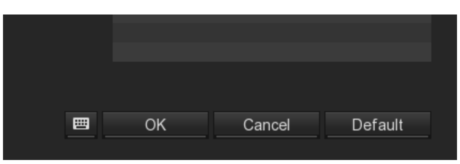


3 アラームの内容を設定する。

各項目については、「「アラーム設定」画面の詳細」（59 ページ）をご覧ください。

4 手順 1 ～ 3 を繰り返し、アラームの設定を登録する。

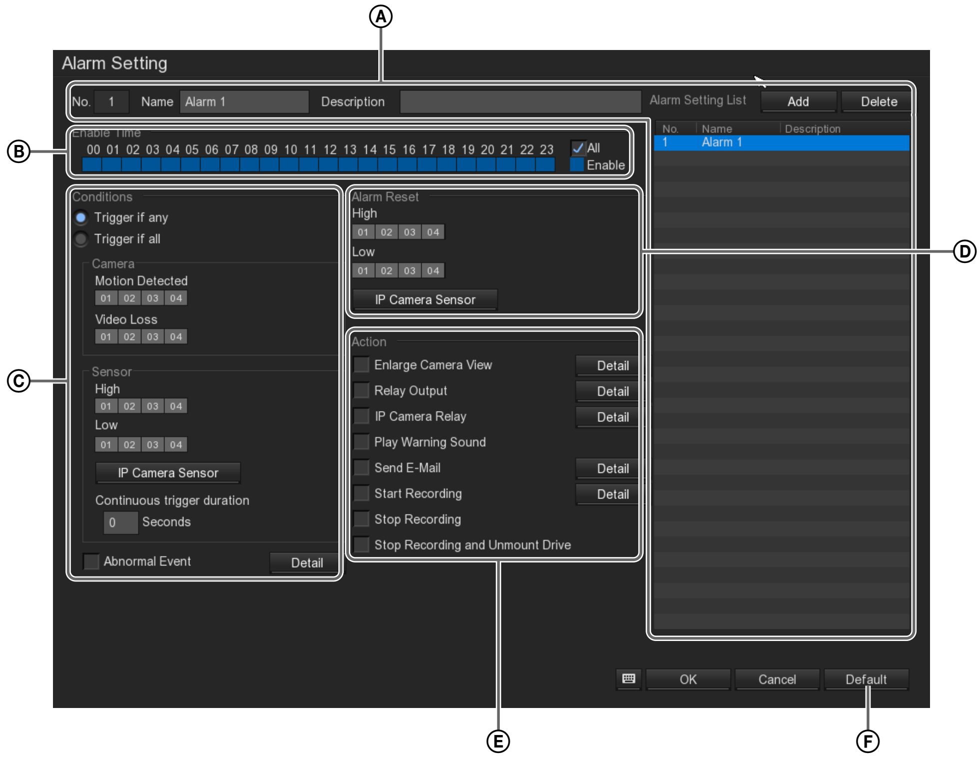
5 ［OK］をする。



アラームの設定が保存されます。

「アラーム設定」画面の詳細

「アラーム設定」画面



Ⓐ No.

アラームの設定 No. が表示されます。

名前

アラームの設定名を入力します。
使用可能な文字は、半角英数字、記号（¥ / : * ? " < > |を除く）です。

説明

アラームの設定についての説明を入力します。

追加

アラームの設定をリストに追加します。

削除

リストで選択したアラームの設定を削除します。

アラームの設定リスト

登録されているアラームの設定が一覧表示されます。

Ⓑ 時間を有効にします

時間帯のマスをクリックし、アラームの設定を運用する時間を指定します。
すべてに時間帯でアラームを運用するときは、［全部］にチェックマークを付けます。

Ⓒ 条件

アラームを発生させる条件を指定します。

一つの条件を満たす

設定した条件を 1 つでも満たしたときにアラームを発生させせます。

全ての条件を満たす

設定した条件をすべて満たしたときにアラームを発生させます。

カメラ

アラームのトリガーとなるカメラを設定します。

動体検知

動く物体の検知がアラームのトリガーとなるカメラを選択します。

ビデオ信号消失

ビデオ信号消失（VIDEO LOSS）の検出がアラームのトリガーとなるカメラを選択します。

センサー

アラームのトリガーとなるセンサーの状態を設定します。

高

NSR-S10/S20 本体のセンサーの状態が「高」になったときにアラームのトリガーとなるカメラを選択します。

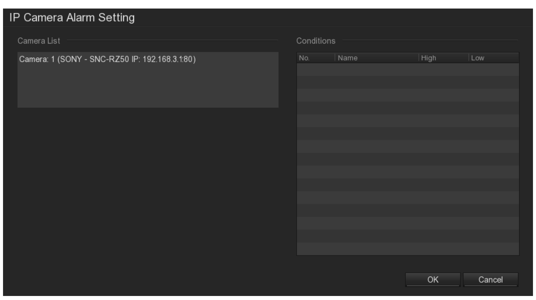
低

NSR-S10/S20 本体のセンサーの状態が「低」になったときにアラームのトリガーとなるカメラを選択します。

IP カメラセンサー

カメラのセンサー入力を使用する場合に設定します。

このボタンをクリックすると、「IP カメラアラーム設定」画面が表示されます。［カメラリスト］からカメラを選択し、右側の［条件］でセンサーの状態（［高］または［低］）を選択します。



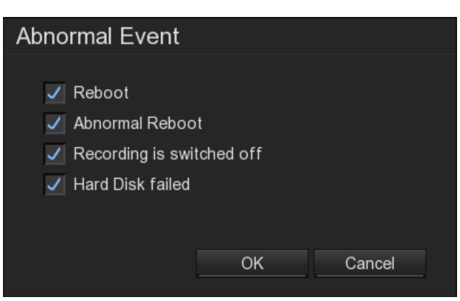
連続トリガー期間

アラームのトリガーとなるセンサーの状態が続いた場合に、何秒後にアラームを発生させるかを入力します。

異常イベント

本機の異常をアラームのトリガーにするときにチェックマークを付けます。

［詳細］をクリックすると、「異常イベント」画面を表示され、アラームのトリガーとなる条件を設定できます。



アラームのトリガーとなる条件にチェックマークを付けます。

再起動

ハード的な異常以外で本機のシステムが再起動した場合に、アラームを発生させます。

異常再起動

ハード的な異常で本機のシステムが再起動した場合に、アラームを発生させます。

録画停止

記録が停止した場合に、アラームを発生させます。

ハードディスクエラー

ハードディスクにエラーが発生した場合に、アラームを発生させます。

Ⓓ アラームリセット

アラームを解除するときのセンサーの状態を設定します。

高

センサーの状態が「高」になったときにアラームを解除するカメラを選択します。

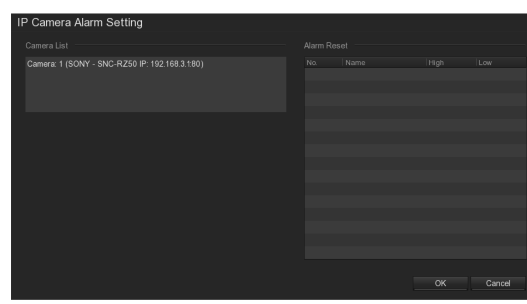
低

センサーの状態が「低」になったときにアラームを解除するカメラを選択します。

IP カメラセンサー

「IP カメラアラーム設定」画面を表示します。

［カメラリスト］からアラーム解除のトリガーとなるカメラとセンサー入力端子を選択します。



Ⓔ アクション

アラームが発生したときに行うアクションにチェックマークを付けます。

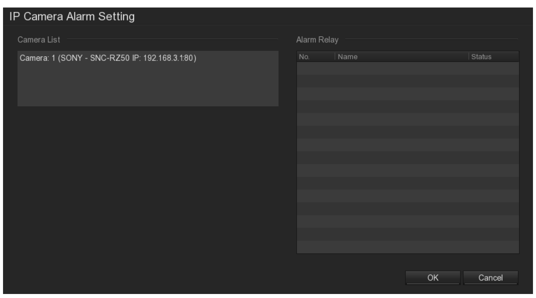
カメラ画面を拡大

指定したカメラの画像が表示されているモニターフレームを 1 × 1（1 面）のレイアウトで表示します。

ここにチェックマークを付けたときは、［詳細］をクリックし、表示される「カメラ映像拡大」画面（61 ページ）で画像を拡大表示するカメラを指定してください。

リレー出力
アラームをリレー出力します。
ここにチェックマークを付けたときは、［詳細］をクリックし、表示される「アラームリレー」画面（61 ページ）でアラーム出力端子のオン／オフを設定してください。

IP カメラリレー
リレー出力の対象となるカメラを選択します。
ここにチェックマークを付けたときは、［詳細］をクリックし、表示される「IP カメラアラーム設定」画面でリレー出力の対象となるカメラとリレー端子を選択します。



警告音を出す
アラームの発生時に警告音を鳴らします。

E メール送信
アラームの発生時に、あらかじめ登録されているメールアドレス宛に電子メールで通知します。
ここにチェックマークを付けたときは、［詳細］をクリックし、表示される「E メール設定」画面（62 ページ）で E メール送信の設定をします。

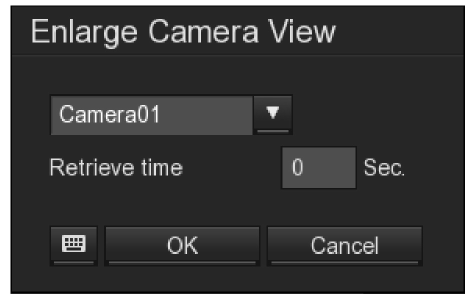
録画開始
アラームの発生をトリガーとして、記録を開始します。
ここにチェックマークを付けたときは、［詳細］をクリックし、表示される「アラーム記録設定」画面（62 ページ）で記録を行うカメラやフレームレートなどを設定します。

録画停止
アラームの発生をトリガーとして、記録を停止します。

録画を停止し、ドライブをアンマウントする
HDD を搭載していないモデルの場合に、アラームの発生をトリガーとして、ドライブをアンマウントします。
ドライブをアンマウントすると、警告音が 30 秒間鳴ります。

Ⓕ デフォルト
各設定を初期値に戻します。

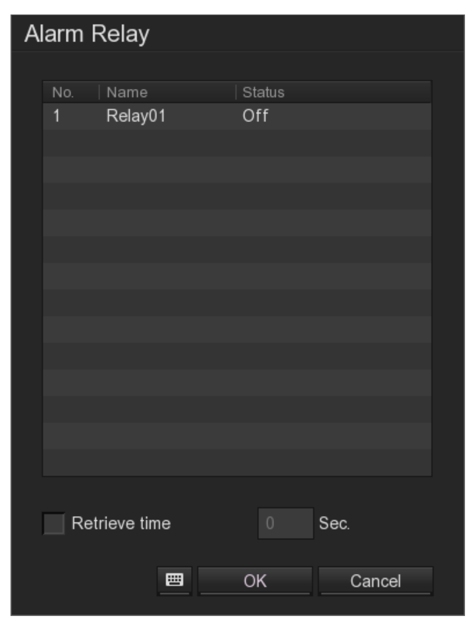
「カメラ映像拡大」画面
本画面は、「アラーム設定」画面の［アクション］で、［カメラ画面を拡大］の［詳細］をクリックすると表示されます。



カメラ ID
アラームの発生時に、モニターフレームを 1 × 1（1 面）のレイアウトで表示するカメラうを選択します。

復元時間
アラーム発生前のレイアウトに戻すまでの時間を 0 ～ 600 秒の範囲で入力します。
レイアウトは手動で戻すこともできます。

「アラームリレー」画面
本画面は、「アラーム設定」画面の［アクション］で、［リレー出力］の［詳細］をクリックすると表示されます。



リレーリスト

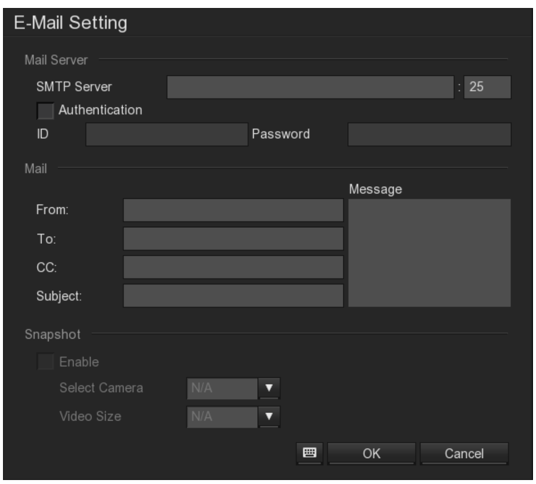
各リレー端子の On/Off を設定します。
本リストは、「リレー設定」画面（55 ページ）で［有効］にチェックマークが付いているときに有効です。
［状態］のセルをクリックすると、On/Off が切り替わります。

復元時間

リレー出力を解除するまでの時間を設定するときにチェックマークを付け、時間を秒単位で入力します。

「E メール設定」画面

本画面は、「アラーム設定」画面の［アクション］で、［E メール送信］の［詳細］をクリックすると表示されます。



メールサーバー

メールサーバーの情報を設定します。

SMTP サーバー

SMTP サーバーのアドレスを入力します。

認証

SMTP 認証を使う場合にチェックマークを付けます。
ここにチェックマークを付けたときは、SMTP 認証のユーザー ID とパスワードを入力します。

メール

メールの内容を設定します。

発信元

発信元のメールアドレスを入力します。

宛先

宛先のメールアドレスを入力します。

CC

CC のメールアドレスを入力します。
複数のアドレスを設定するときはセミコロン（;）で区切ります。

件名

件名を入力します。

メッセージ内容

メールの本文を入力します。

スナップショット（将来拡張用）

「アラーム記録設定」画面

本画面は、「アラーム設定」画面の［アクション］で、［録画開始］の［詳細］をクリックすると表示されます。



録画カメラ

記録を開始するカメラを選択します。

全部

すべてのカメラで記録を開始するときにチェックマークを付けます。

フレームレート

フレームレートを選択します。

カメラの設定

カメラに設定されているフレームレートで記録します。

最大

カメラの最大フレームレートで記録します。

プリアラーム

トリガーを検知する前の画像にさかのぼって保存する期間を秒単位で入力します。

メモ

トリガー前の記録は、最大で 1 fps（1 秒に 1 フレーム）となります。また、トリガーが発生する前の記録期間は、カメラの解像度やビットレートの設定により異なります。詳細はリリースノートを参照してください。
リリースノートは以下からダウンロードしてください。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

ポストアラーム

アラームのトリガーとなる条件が解除された時点から記録を終了するまでの期間を秒単位で入力します。

ユーザー設定

本機にユーザーを登録し、ログオンするときのパスワードや各機能を使用する権限を設定できます。
ユーザーの登録は、「ユーザー設定」画面で行います。

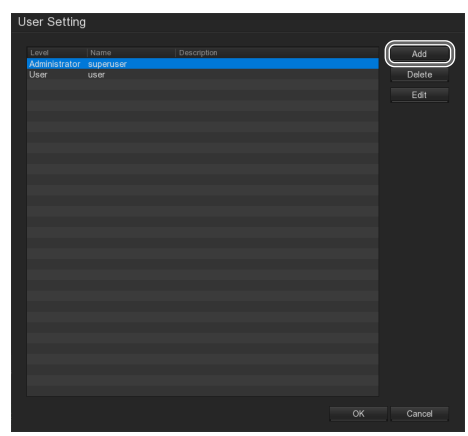
ご注意

- 作成したユーザーのパスワードを忘れてしまった場合、そのユーザーしか持たない権限については一切実行できなくなりますので、注意してください。
- ユーザーの登録など、ユーザー設定ができるのは、「システム設定」権限が与えられているユーザーだけです。

ユーザーを登録する

「ユーザー設定」画面は、「設定メニュー」画面で User（ユーザー設定）をクリックすると表示されます。
「ユーザー設定」画面のユーザーリストに、ユーザーを追加します。

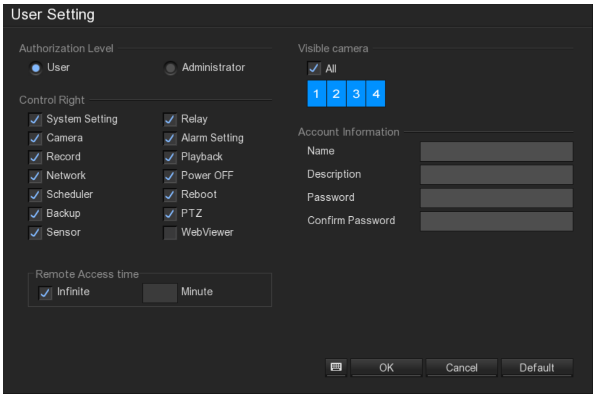
1 画面右上にある［追加］をクリックする。



次の画面が表示されます。

2 各項目を設定し、[OK] をクリックする。

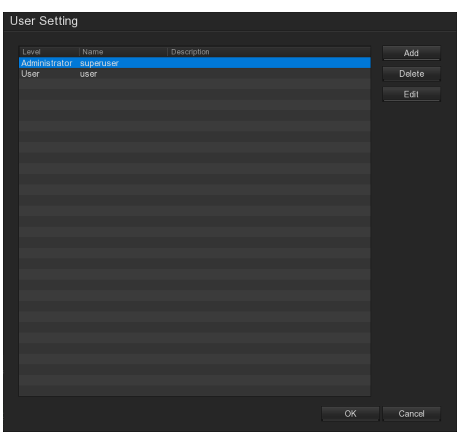
各項目の詳細は、「ユーザー設定」画面（設定）（64 ページ）をご覧ください。



リストにユーザーが追加されます。

「ユーザー設定」画面の詳細

「ユーザー設定」画面（ユーザーリスト）



ユーザーリスト

本機に登録されているユーザーが一覧表示されます。
リストには、ユーザーの許可レベル、名前、説明が表示されます。

追加

新規にユーザーを追加します。
このボタンをクリックすると、「ユーザー設定」画面（設定）（64 ページ）が表示されます。

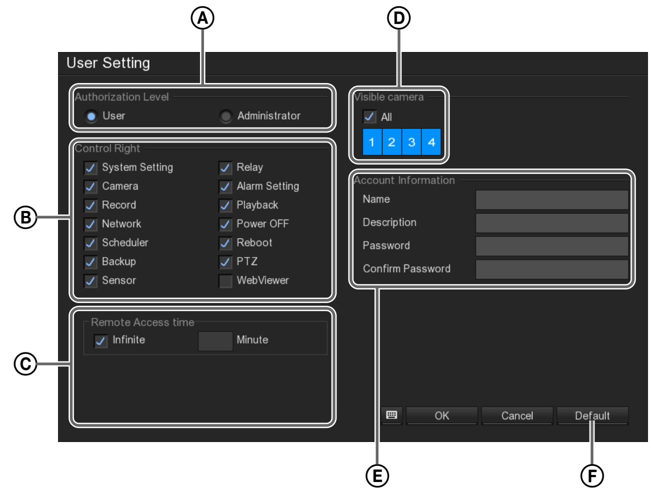
削除

リストで選択したユーザーを削除します。

編集

リストで選択したユーザーの設定内容を変更します。
このボタンをクリックすると、「ユーザー設定」画面（設定）（64 ページ）が表示されます。

「ユーザー設定」画面（設定）



Ⓐ 許可レベル

ユーザーの許可レベルを選択します。

Ⓑ 制御権限

このユーザーに与える権限にチェックマークを付けます。

Ⓒ リモートアクセスタイム

リモートアクセスを許可する時間を設定します。
アクセス時間を制限しないときは、[無制限] にチェックマークを付けます。
制限するときは、チェックマークをはずし、制限時間を分単位で入力します。

Ⓓ 可視カメラ

モニタリングを許可するカメラを選択します。
すべてのカメラのモニタリングを許可するときは、[全てのカメラを選択] にチェックマークを付けます。

Ⓔ ユーザー情報

ユーザー名やパスワードを設定します。

ユーザー名

ユーザーの名前を入力します。

説明

このユーザーの説明を入力します。

パスワード

パスワードを入力します。

パスワード確認

確認のため、同じパスワードを入力します。

Ⓕ デフォルト

各設定を初期値に戻します。

その他 第5章

ファームウェアのアップデート

ソニーから配布されたファームウェアを本機にインストールできます。
ファームウェアは、本機でサポートするカメラが追加されたときや機能追加されたときなどに配布されます。最新のNSR-S10/S20のファームウェアは、以下のURLからダウンロードできます。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S.zip

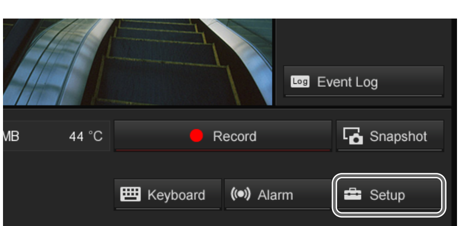
また、ソフトウェアの変更内容については、『リリースノート』(PDF)をご覧ください。リリースノートは、以下のURLからダウンロードできます。
http://www.sony.co.jp/Products/NSR/NSR-S_ReleaseNote_J.pdf

1 ファームウェアをUSBフラッシュメモリーにコピーし、本機に挿入する。

ご注意

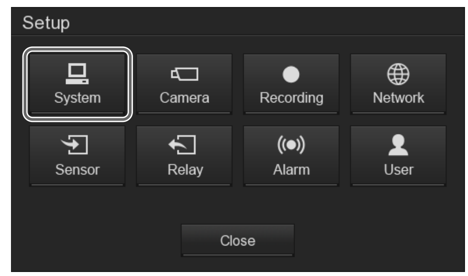
絶対にファームウェアのファイル名などを変更しないでください。

2 モニタリング（LIVE）画面右下の Setup （システム設定）をクリックする。



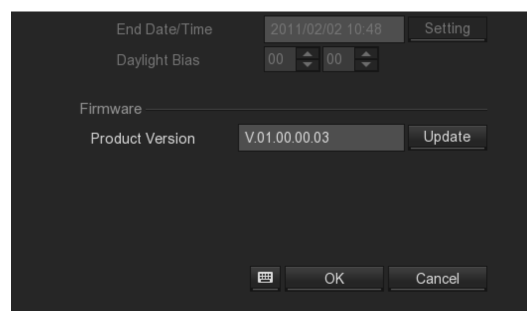
「Setup」画面が表示されます。

3 System （システム設定）をクリックする。



「システム設定」画面が表示されます。

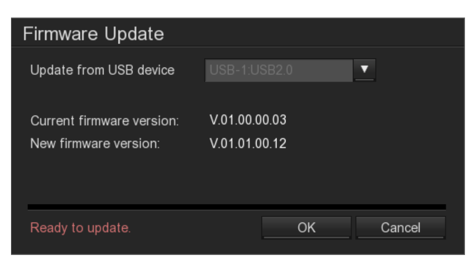
4 ［ファームウェア］の［更新］をクリックする。



「ファームウェア更新」画面が表示されます。

5 ファームウェアが格納されているメディアを選択し、［OK］をクリックする。

必ずファームウェアのバージョンを確認してください。



確認メッセージが表示されます。

6 ［OK］をクリックする。

アップデートが開始されます。

ご注意

アップデート中は絶対に電源を切らないでください。

アップデートが完了すると、メッセージが表示され、自動的に本機が再起動します。
再起動後、「システム設定」画面でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認してください。

I/O ポートについて

I/O ポートのピン配列

オーディオ入出力

Pin NO.	AUDIO
1	AUDIO IN（将来拡張用）
2	AUDIO IN GND（将来拡張用）
3	AUDIO OUT
4	AUDIO OUT GND

センサー入力、リレー出力

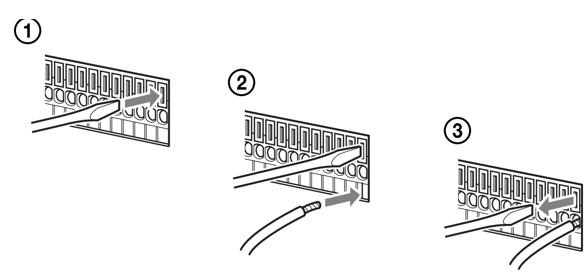
Pin NO.	SENSOR
5	SENSOR IN 1
6	SENSOR IN 1 GND
7	SENSOR IN 2
8	SENSOR IN 2 GND
9	SENSOR IN 3
10	SENSOR IN 3 GND
11	SENSOR IN 4
12	SENSOR IN 4 GND
13	RELAY OUTPUT ＋
14	RELAY OUTPUT －

I/O ポートの接続方法

ワイヤー（AWG No.26 ～ 20）を接続したい穴の上、または下のスロットにマイナスドライバーを差し込み、ワイヤーを差し込んでから、マイナスドライバーを引き抜く。

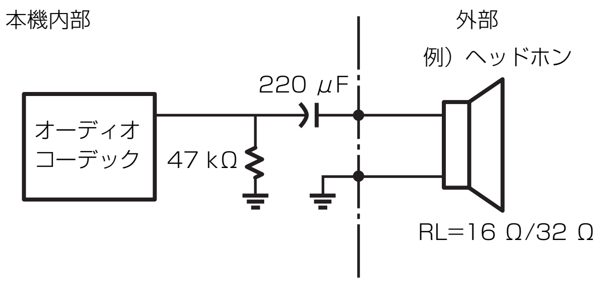
ご注意

マイナスドライバーは、極端に強く差し込まないでください。故障の原因となります。

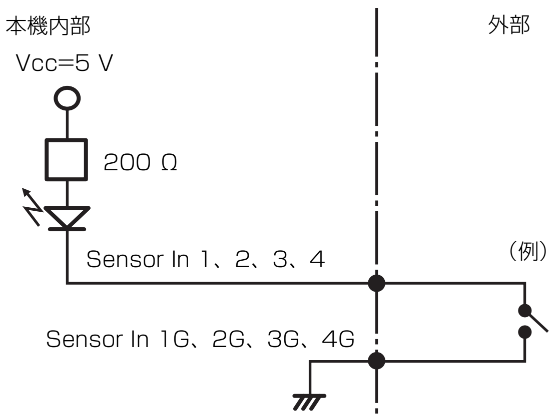


同じ手順で、必要なワイヤーをすべて接続します。

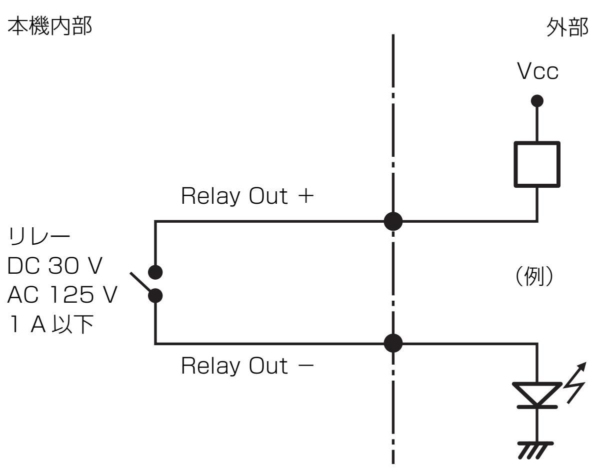
オーディオ出力への配線図



センサー入力への配線図



リレー出力への配線図



故障かな？と思ったら

まず初めに、下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも解決しないときは、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

本機が起動しない

- 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- お使いのコンセントに他の機器を接続してみるなどして、コンセントが通電しているか確認してください。

モニターに何も表示されない

- 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- モニターケーブルが正しく接続されているか確認してください。モニターがモニター端子に接続されているか確認してください。

外部接続機器が正しく動作しない

- ケーブルが正しく接続されているか、ピンが折れたり曲がっていないかなどを確認してください。

USB 接続した機器が動作しない

- USB フラッシュメモリーは、一般的な USB 2.0 マスストレージに対応しています。USB 2.0 マスストレージでも一部の製品によっては、データの書き込みの際にエラーとなる可能性があります。書き込みの際にエラーが発生した場合には、別の機種の USB フラッシュメモリーをお使いください。
- USB デバイスを正しくご使用いただくために、USB ハブ経由などでなく本機の USB コネクタに直接接続してお使いください。USB ハブ、延長ケーブル経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 接続する USB 機器の説明書を参照してください。

NETWORK LED が点灯しない

- ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。

ハードディスクにアクセスできない

- ハードディスクへのアクセスが頻繁になると、HDD LED が高速で点滅するため、ゆっくりと点灯しているように見えます。

すぐに温度が上昇する

- 本機を段積みして使用していると、互いの発熱で非常に熱くなります。段積みしたり、発熱物の上に置いたり、狭い所に押し込んだりしないでください。

仕様

NSR-S10/S20

外部コネクター

前面　USB：USB 2.0（1）
背面　モニター出力：
　アナログ RGB（ミニ D-SUB 15 ピン）（1）
LAN 端子（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）（RJ-45）（2）
USB：USB 2.0（2）
e-SATA 端子（1）
オーディオ入力（マイク）（応答周波数 4 kHz、サンプルレート 8 kHz、入力信号レベル 1 Vrms、入力抵抗 10 kΩ）（1）（将来拡張用）
オーディオ出力（出力レベル 30 Vrms（RL ＝ 32 Ω）、60 Vrms（RL ＝ 16 Ω）、フルスケール出力電圧 1 Vrms、出力インピーダンス 16/32 Ω、出力チャンネル 1（モノラル））（1）
センサー入力（DC 5 V ～ 6 V デバイス対応、フォトカップラー入力、本体とは電気的に絶縁）（4）
リレー出力（最大 DC30 V、AC125 V 1 A）（メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）（1）

使用環境

動作温度：5 ℃～ 40 ℃
動作湿度：20% ～ 80%（最大湿球温度：30 ℃）（結露のないこと）
保存温度：－ 20 ℃～＋ 60 ℃
保存湿度：20% ～ 90%（最大湿球温度 35 ℃、結露のないこと）
電源・その他
電源：　DC 12 V
消費電流：最大 4.0 A
AC アダプター：AC 100 － 240 V ～ 50/60 Hz
外形寸法：245（W）× 53（H）× 160（D）mm（突起含まず）
本体重量：約 1.4 kg（HDD 0.6 kg を含む）

付属品

AC アダプター（1）
電源コード（1）
SATA ケーブル（1）（HDD が内蔵されていないモデルのみ）
SATA 電源ケーブル（1）（HDD が内蔵されていないモデルのみ）
ケーブルクランプ（1）
赤外線リモートコントロールユニット（1）
設置説明書（1）
CD-ROM（ファーストステップガイド、ユーザーガイド）（1）
保証書（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

重要

本機は安全規格用の型番として AVOM001 または AVOM002 を用いています。この番号は電圧・電流定格が表示された本体上の定格ラベルに記載してあります。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/